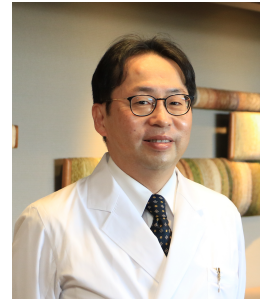


知多厚生病院 | 年報

(令和 5 年度)

発刊にあたり（ご挨拶）

病院長 高橋 佳嗣



知多厚生病院は、1964年（昭和39年）6月に愛知県厚生連9番目（当時）の病院として開設され、以後知多半島南部における急性期医療と救急医療の拠点病院として診療に携わってまいりました。平成11年からは知多半島医療圏の第二種感染症指定医療機関、平成14年からは篠島や日間賀島など離島医療を支援するへき地医療拠点病院、平成16年からは臨床研修指定病院、平成19年からは災害拠点病院に指定されるなど、知多半島南部の公的医療機関として重要な責務を果たしております。

当院の主な診療圏である美浜町・南知多町では、愛知県の平均よりも人口減少・少子高齢化が大きく進行しているとともに、地域の各医療機関においても医師の高齢化も進み、医療の確保が難しくなっています。

このような医療環境においても皆様が「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる（Aging in Place）」ように当院では急性期医療・亜急性期医療・救急医療・在宅医療などの提供を通して地域包括ケアシステムの一角を担い地域の医療を支えております。

さて、令和5年度の医療情勢を振り返ると、新型コロナウイルス感染症の分類変更に伴い約3年間にわたる特別な医療体制が大きな転換期を迎えました。After コロナ・With コロナへの道を模索しながらも、新型コロナウイルス感染症の鎮静化により外来患者数は減少（前年比98.0%）するも、入院においては新型コロナウイルス対応による特別な制限から開放され、入院患者数は増加（前年比104.4%）しました。

このような一年を過ごした今、あらためて健康が人々の生活の根源であり、それを医療がしっかりと支えていかねばならないと実感しております。

今後も知多厚生病院は『保健・医療・福祉の活動を通じて、地域住民が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献する』という病院理念に基づき、地域とともに地域を考え、『Aging in Place 知多半島モデル』を構築し、さらにこの地域の『まちづくりの拠点』としてもお役に立てますよう、職員一同全力を尽くし取り組んで参ります。引き続き皆様のご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

令和7年3月

病院基本情報

知多厚生病院 理念

私たちは保健・医療・福祉の活動を通じて、地域住民が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献します。

知多厚生病院 基本方針

- 1、地域住民のニーズに応える診療体制の充実に努めます。
- 1、救急医療・災害医療の充実に努めます。
- 1、医療技術と接遇向上に努めます。
- 1、患者の権利とプライバシーを尊重し、安全で快適な、患者中心の医療サービスを提供します。

*ロゴマークについて

ロゴマーク全体で、知多厚生病院（Chitakosei Hospital）の頭文字“C”と、知多半島を表しています。

また、右下の2つの四角は、篠島・日間賀島を、丸は、知多半島における当院の位置を表しています。

全体として、知多半島をイメージさせる海・空の色である明るい青を基調に、開放感・希望を、知多半島全域で盛んな農業（JA）をイメージさせる明るい緑は安心・安全・癒しを、美浜町を中心に栽培が盛んなみかんや、太陽をイメージさせる明るいオレンジは、躍動感・歓喜・溢れる生命感を表しています。



知多厚生病院 概要

令和6年3月31日 現在

名 称

愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院

所在地

〒470-2404

愛知県知多郡美浜町大字河和字西谷81番地6

TEL 0569-82-0395

FAX 0569-82-4333

E-MAIL c-hospital@chita.jaaikosei.or.jp

ホームページ <https://chita.jaaikosei.or.jp>

設立年月日

昭和39年6月1日

病床数

199床（一般193床（地域包括ケア病棟85床含む） 感染症6床）

診療科（25科）

内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・糖尿病内科・神経内科・血液内科・小児科・外科・消化器外科・乳腺外科・肛門外科・内視鏡外科・血管外科・整形外科・リウマチ科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

各種指定

救急告示病院、地域災害拠点病院、へき地医療拠点病院、臨床研修指定病院、
労災指定医療機関、母体保護法指定医療機関、生活保護法指定医療機関、
指定自立支援医療機関、更生・育成医療指定医療機関、養育医療指定医療機関、
性病予防法指定医療機関、被爆者一般疾病指定医療機関、健康保険法指定医療機関、
国民健康保険指定医療機関、第2種感染症指定医療機関、肝疾患専門医療機関、
病院群輪番制病院、特定疾病治療研究医療機関、小児慢性特定疾病治療研究医療機関、
愛知DMA T指定医療機関、人間ドック健診施設機能評価認定、
医療被ばく低減施設認定

関連施設

知多厚生病院健康管理支援センター
南部知多訪問看護ステーション
知多厚生病院附属篠島診療所

管理者

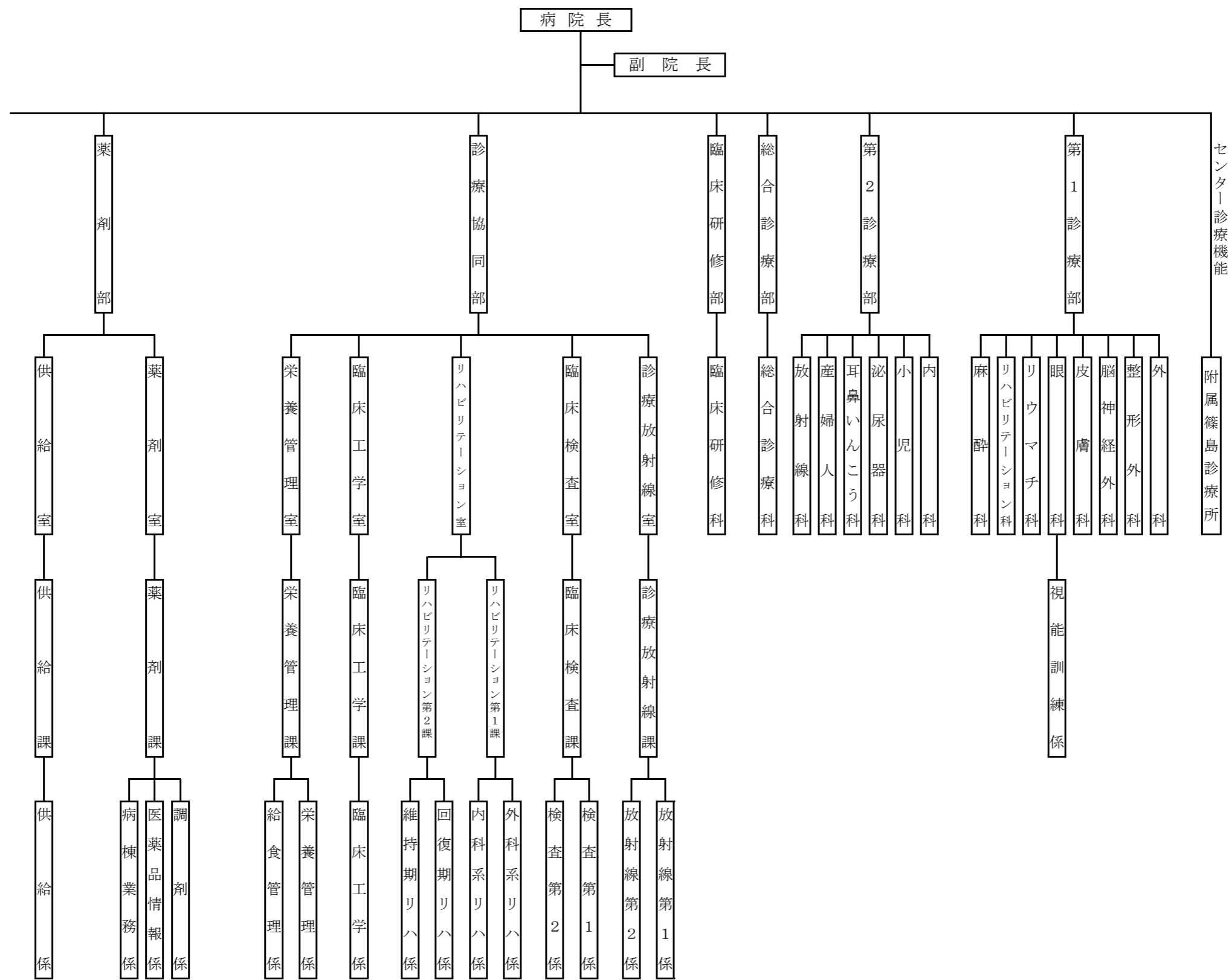
病院長： 高橋 佳嗣
副院長： 村元 雅之、福島 庸行、富本 茂裕
第1診療部長： 福島 庸行 医療情報部長： 中塚 雅雄
診療協同部長： 齋藤 宏明 薬剤部長： 齋藤 宏明
看護部長： 近藤 貴代 事務部長： 池田 智志

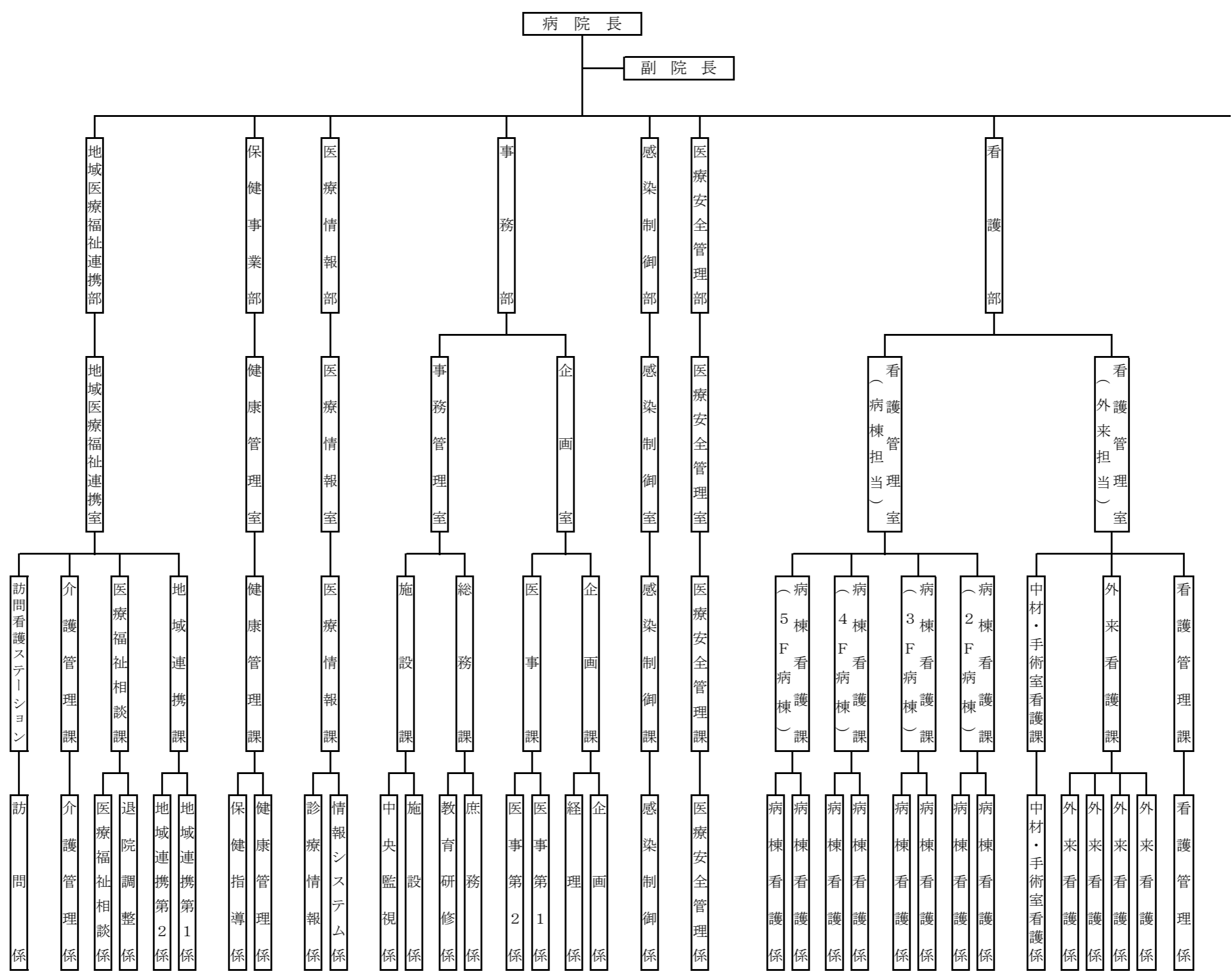
知多厚生病院 沿革

令和6年3月31日 現在

昭和38年	3月	知多郡美浜町河和に厚生連病院建設決定
昭和39年	6月	知多厚生病院診療開始 内科・外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科 病床数 113床
昭和42年	3月	美浜町・南知多町伝染病組合伝染病舎24床併設 (病床数 137床)
昭和43年	10月	病棟増築(病床数 179床)
昭和49年	7月	救急医療施設開設 整形外科開設 病棟・リハビリ棟増築(病床数 217床)
昭和54年	2月	総合病院として認可
昭和55年	6月	病棟増築(病床数 222床)
昭和57年	3月	診療棟増改築
	4月	小児科開設
	6月	皮膚科開設
昭和58年	1月	放射線科開設
	2月	病棟増改築・伝染病舎改築(病床数 277床)
平成3年	10月	知多厚生病院附属篠島診療所開設
平成6年	4月	脳神経外科開設
平成8年	4月	泌尿器科開設
平成9年	10月	南部知多訪問看護ステーション開設
平成10年	3月	病棟改築(病床数 一般260床・伝染8床)
平成11年	4月	第2種感染症指定医療機関指定 (病床数 一般260床・感染6床)
平成11年	10月	居宅介護支援事業所 知多厚生病院介護保険センター開設
平成14年	2月	療養型病床開設(病床数 一般212床・療養48床・感染6床)
	4月	へき地医療拠点病院指定
平成15年	5月	病床区分変更(病床数 一般206床・療養54床・感染6床)
	10月	臨床研修病院指定
平成16年	5月	オーダーリングシステム稼働
平成19年	3月	災害拠点病院指定

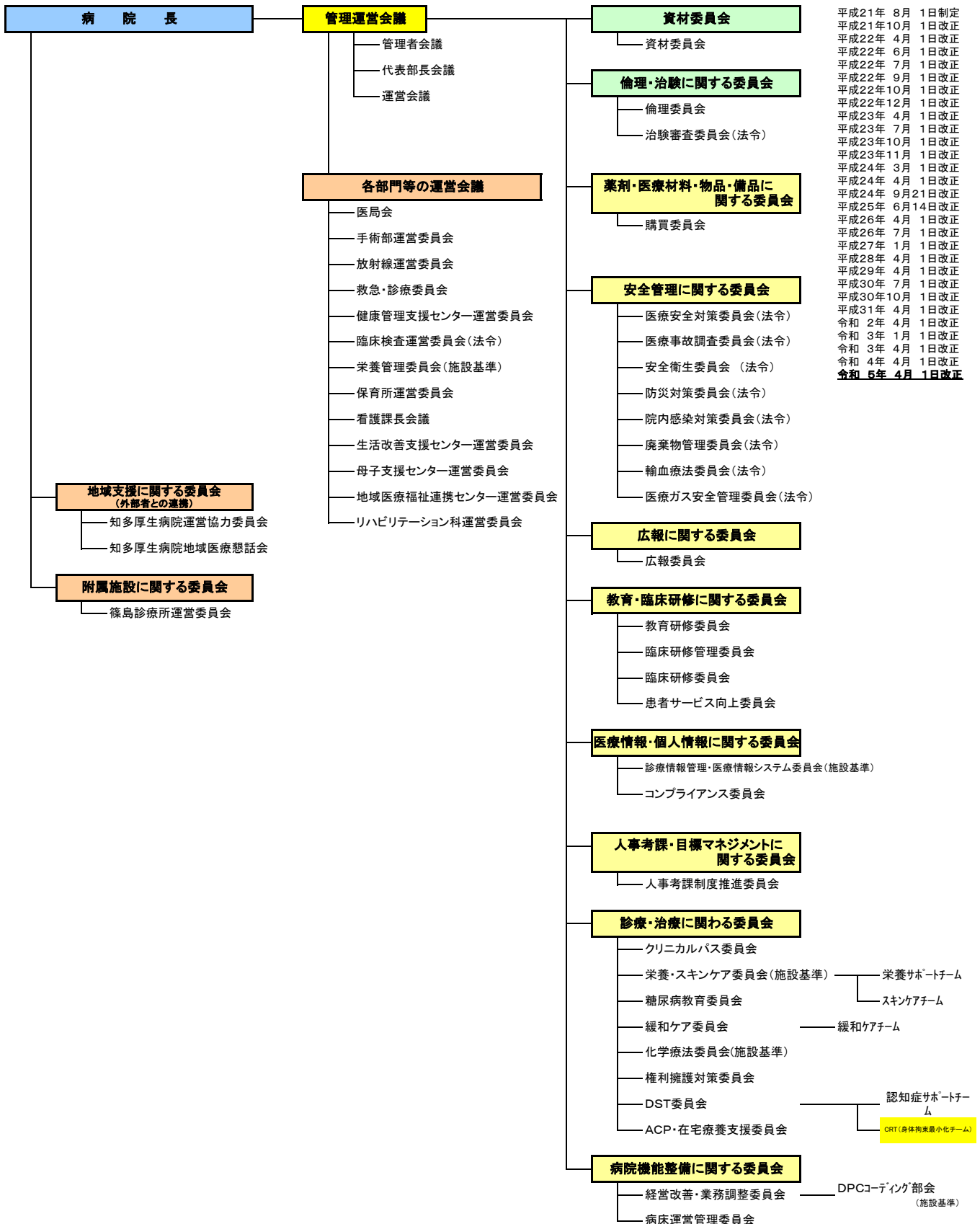
平成21年	8月	診療棟改築 電子カルテシステム稼働 ID-Link導入
平成22年	9月	病床区分変更（病床数 一般199床・療養54床・感染6床）
平成23年	9月	7対1入院基本料取得
平成25年	12月	DMA T（災害派遣医療チーム）結成
平成26年	4月	DPC（診断群分類）対象病院
	6月	回復期リハビリテーション病棟開設 （一般〔7対1看護基準〕149床、回復期リハ50床、療養54床、感染6床）
	9月	開院50周年記念式典・病院祭開催
平成27年	7月	認知症対応力向上事業実施病院
平成28年	4月	DMA Tを派遣（熊本地震）
平成29年	3月	電子カルテシステム更新
	7月	人間ドック健診施設機能評価認定
平成30年	2月	地域包括ケア病棟開設 （回復期リハビリテーション病棟より転換） （一般〔7対1看護基準〕149床、地域包括ケア50床、療養54床、感染6床）
平成30年	12月	病床区分変更 （一般〔7対1看護基準〕157床、地域包括ケア42床、療養54床、感染6床）
平成31年	2月	オンライン診療・オンライン服薬指導開始
令和元年	5月	ホームページリニューアル CT装置更新
令和2年	2月	感染症病棟 COVID-19疑い患者受け入れ
	3月	COVID-19帰国者・接触者外来を開設 COVID-19発熱外来を設置
令和2年	8月	病床削減・病床区分変更（療養病床廃止）病床数199床 （一般〔7対1看護基準〕108床、地域包括ケア85床、感染6床）
令和3年	5月	感染症病床8床をハイケアユニット入院管理料に届出 コロナワクチン接種開始
令和4年	1月	アンギオ装置更新
	2月	自動分析装置更新
令和4年	12月	病棟にて新型コロナウイルスのクラスター発生
令和5年	3月	人間ドック健診施設機能評価受審・更新
令和6年	1月	能登半島地震被災地にDMA Tを派遣
	3月	電子カルテシステム更新





会議体規程 別表 1

知多厚生病院 会議・委員会組織図



【環境認識】

知多半島南部地域においては、少子高齢化、人口減少が著しく進行していきませんが、高齢者人口は2030年度まで現状を維持すると予測されており、人口の減少率ほど医療需要は減少しないことが想定されます。そのため、地域における唯一の公的医療機関として、救急をはじめ、地域連携をより強固なものとして、地域の医療需要に応じていく病院であり続けることが求められております。少子化の影響で働き世代の人口減少が加速的に進んでいる地域であることから、人財確保が大きな課題となっておりますが、医療体制を継続するために医師をはじめマンパワーの確保に取り組み、私たちが理念に掲げる「保健・医療・福祉の活動を通じて、地域住民が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献します」を追求し、経営の効率化を中心とした持続可能な病院経営を目指すことが求められております。

【事業方針】

- ①地域の役割分担徹底と救急と紹介患者受け入れの強化
- ②職員一人ひとりがやりがいを持ち活気ある風土の醸成
- ③持続可能な病院経営の追求
- ④患者が安心できる医療提供体制の充実

事業目標	具体的実施目標
① 医療事業	
救急医療の充実	救急搬送受入体制、応援体制の継続
	近隣地域を含めた消防との連携強化
診療体制の充実	常勤医師確保に向けた大学との連携強化 地域枠・自治医大・順天堂大からの派遣継続
	臨床研修医確保に向けた活動強化
	急性期・地域包括・感染病棟の看護体制確保
② 医療の質・安全強化	
医療の質の向上	チーム医療の強化
	ES・CS活動の推進
医療安全管理の充実	レポート等からの情報分析による事故予防策の検討・実施
感染制御の充実	感染症指定医療機関としての患者受入体制の充実
	感染対策にかかる職員教育の実施
災害医療体制の充実	災害拠点病院として機能発揮するための職員教育の実施
③ 地域との連携強化	
地域連携体制の充実	近隣地域の病院・開業医との連携強化
	紹介率の向上
	地域包括ケアシステムの推進
	入退院支援の実施
行政との連携体制の充実	地元行政との連携強化、補助金の継続的交渉
住民との連携体制の充実	広報誌、ホームページを通じて情報発信
	住民公開講座の開催

④ 保健事業	
保健事業の充実	人間ドック及び各種健診の利用者確保
サービスと質の追求	要精検受診者確保に向けた取組み
⑤ 介護事業	
訪問看護ステーションの充実	利用者確保に向けた病院・施設等との連携強化
⑥ 経営管理	
経営の安定化に向けた対策	施設基準維持にむけた対策の検討
	付加価値増加策の検討
	病床利用率の向上
	費用削減策の検討・実施
	レスパイト入院の推進
働き方改革への対応	タスクシフト・タスクシェアの検討・実施
	時間外勤務削減に向けた業務見直し
医療情報システムの安定稼働	電子カルテ、部門システム更新



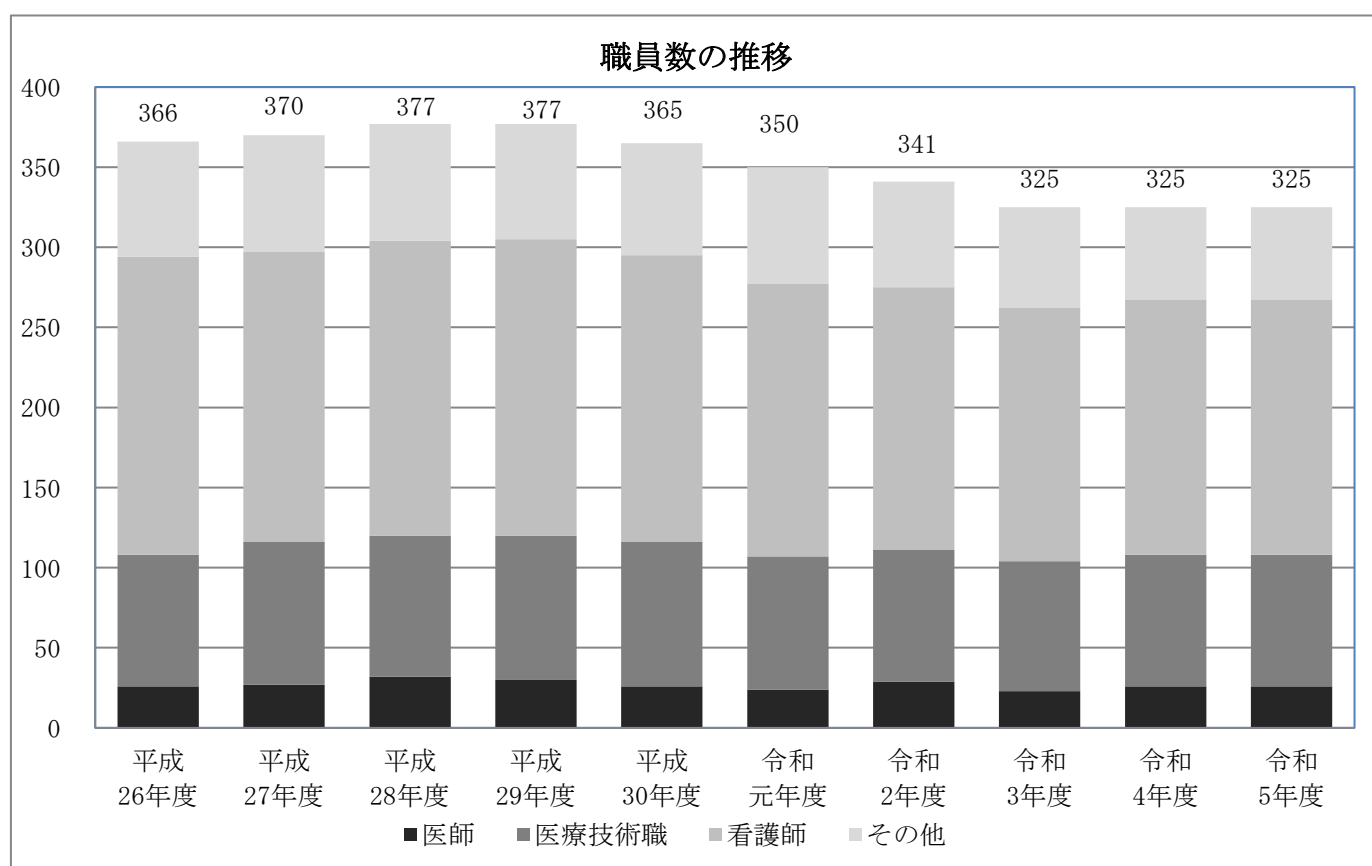
統計資料

職員数の推移……………	1 4
過去3か年の推移	
診療科別延べ患者数……………	1 5
科別時間外患者取扱数……………	1 6
市町村別時間外患者取扱数……………	1 6
市町村別時間外患者 (救急車搬入件数)……………	1 6
診療科別在院延べ患者数 及び新入院患者数……………	1 7
診療科別退院患者数 及び平均在院日数……………	1 8

■ 職員数の推移

	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
医師	26	27	32	30	26	24	29	23	26	26
医療技術職	82	89	88	90	90	83	82	81	82	82
看護師	186	181	184	185	179	170	164	158	159	159
その他	72	73	73	72	70	73	66	63	58	58
総数	366	370	377	377	365	350	341	325	325	325

※ その他・・・事務職、技能職、作業職



■ 過去3カ年の推移

1. 診療科別延べ患者数（医療＋介護）

年度	令和3年度		令和4年度				令和5年度			
	外来	入院	外来		入院		外来		入院	
科	患者数	患者数	患者数	前年比	患者数	前年比	患者数	前年比	患者数	前年比
内科	39,658	26,195	43,569	109.9%	26,381	100.7%	40,374	92.7%	27,765	105.2%
小児科	7,249	96	8,051	111.1%	86	89.6%	8,956	111.2%	16	18.6%
外科	8,539	7,492	8,444	98.9%	6,340	84.6%	8,424	99.8%	7,318	115.4%
整形外科	20,131	7,757	20,445	101.6%	11,836	152.6%	20,696	101.2%	12,577	106.3%
脳神経外科	17,576	15,078	17,009	96.8%	13,094	86.8%	16,685	98.1%	12,824	97.9%
皮膚科	13,857	1,434	12,465	90.0%	284	19.8%	11,868	95.2%	222	78.2%
泌尿器科	7,347	368	7,467	101.6%	520	141.3%	7,324	98.1%	563	108.3%
産婦人科	5,115	907	5,436	106.3%	652	71.9%	5,417	99.7%	466	71.5%
眼科	10,238	934	10,765	105.1%	1,197	128.2%	10,726	99.6%	1,310	109.4%
耳鼻 いんこう科	7,913	103	9,994	126.3%	401	389.3%	10,219	102.3%	425	106.0%
篠島/ 療養介護	3,819	0	3,628	95.0%	0	#DIV/0!	3,573	98.5%	0	0.0%
合計	141,442	60,364	147,273	104.1%	60,791	100.7%	144,262	98.0%	63,486	104.4%
平均患者数 (病院のみ)	564.0	165.4	591.1	104.8%	166.6	100.7%	579.0	97.9%	173.5	104.1%
※診療日数 (病院)	244	365	243		365		243		366	

2. 科別時間外患者取扱数

年 度	令和3年度		令和4年度				令和5年度			
	外来	入院	外来		入院		外来		入院	
科	患者数	患者数	患者数	前年比	患者数	前年比	患者数	前年比	患者数	前年比
内科	2,518	338	6,220	247.0	394	116.6	2,245	36.1	442	112.2
小児科	331	0	765	231.1	0	0.0	718	93.9	1	0.0
外科	239	62	223	93.3	49	79.0	165	74.0	56	114.3
整形外科	490	67	530	108.2	115	171.6	533	100.6	99	86.1
脳神経外科	398	157	422	106.0	141	89.8	367	87.0	138	97.9
皮膚科	176	10	214	121.6	2	20.0	238	111.2	4	200.0
泌尿器科	129	3	130	100.8	2	66.7	144	110.8	7	350.0
産婦人科	25	20	35	140.0	29	145.0	13	37.1	15	51.7
眼科	28	0	24	85.7	1	—	24	100.0	0	0.0
耳鼻 いんこう科	129	0	134	103.9	8	—	155	115.7	12	0.0
合 計	4,463	657	8,697	194.9	741	112.8	4,602	52.9	774	104.5

3. 市町村別時間外患者取扱数

年 度	令和3年度		令和4年度				令和5年度			
	外来	入院	外来		入院		外来		入院	
市町村	患者数	患者数	患者数	前年比	患者数	前年比	患者数	前年比	患者数	前年比
美浜町	1,886	277	3,693	195.8	256	92.4	2,187	59.2	304	118.8
南知多町	1,322	271	1,868	141.3	298	110.0	1,416	75.8	334	112.1
武豊町	392	40	924	235.7	66	165.0	375	40.6	44	66.7
半田市	209	14	692	331.1	26	185.7	86	12.4	15	57.7
常滑市	136	32	372	273.5	45	140.6	125	33.6	45	100.0
その他	520	23	1,148	220.8	50	217.4	413	36.0	32	64.0
合 計	4,465	657	8,697	194.8	741	112.8	4,602	52.9	774	104.5

4. 市町村別時間外患者（救急車搬入件数）

年 度	令和3年度		令和4年度				令和5年度			
	外来	入院	外来		入院		外来		入院	
市町村	患者数	患者数	患者数	前年比	患者数	前年比	患者数	前年比	患者数	前年比
美浜町	205	149	212	103.4	138	92.6	202	95.3	174	126.1
南知多町	204	170	204	100.0	177	104.1	190	93.1	207	116.9
その他	253	79	324	128.1	133	168.4	222	68.5	86	64.7
合 計	662	398	740	111.8	448	112.6	614	83.0	467	104.2

5. 診療科別在院延べ患者数及び新入院患者数

	在院延患者数			新入院患者数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
内科	23,303	24,974	26,386	1,274	1,393	1,404
小児科	66	44	9	30	22	7
外科	7,072	5,936	6,884	413	382	411
整形外科	7,481	11,485	12,204	271	367	359
脳神経外科	14,560	12,683	12,382	517	453	445
皮膚科	1,334	246	198	94	36	22
泌尿器科	344	491	539	26	30	23
産婦人科	793	527	394	115	93	71
眼科	740	957	1,072	194	246	240
耳鼻いんこう科	99	339	358	2	62	70
一般計	55,792	57,682	60,426	2,936	3,084	3,052
療養	0	0	0	0	0	0
感染	1,419	1,511	0	199	155	0
合計	57,211	59,193	60,426	3,135	3,239	3,052

6. 診療科別退院患者数及び平均在院日数

	退院患者数			平均在院日数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
内科	1,286	1,407	1,379	18.2	17.8	19.0
小児科	30	22	7	2.2	2.0	1.3
外科	424	393	434	16.9	15.3	16.3
整形外科	272	344	373	27.6	32.3	33.3
脳神経外科	522	447	442	28.0	28.2	27.9
皮膚科	98	36	24	13.9	6.8	8.6
泌尿器科	23	32	24	14.0	15.8	22.9
産婦人科	111	92	72	7.0	5.7	5.5
眼科	194	244	238	3.8	3.9	4.5
耳鼻いんこう科	4	62	67	33.0	5.5	5.2
一般計	2,964	3,079	3,060	18.9	18.7	19.8
療養	0	0	0	-	-	-
感染	187	90	0	7.4	12.3	-
合計	3,151	3,169	3,060	18.2	18.5	19.8

診療科別医療実績

内科	20
小児科	23
外科	25
整形外科	28
脳神経外科	30
皮膚科	32
泌尿器科	34
産婦人科	35
眼科	37
耳鼻いんこう科	39
麻酔科	40

■ 内 科

1. 医師紹介

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
宮本 忠壽	名誉院長 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本消化管学会胃腸科認定医 日本医師会認定産業医 日本消化器病学会東海支部評議員 日本消化器内視鏡学会東海支部評議員	昭和 52 年
高橋 佳嗣	病院長 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医	昭和 62 年
富本 茂裕	副院長 兼 総合診療部長 兼 感染制御部長 兼 内科代表部長 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本循環器学会専門医 日本高血圧学会指導医	平成 2 年
丹村 敏則	健康管理支援センター長 日本内科学会認定総合内科専門医・指導医 日本糖尿病学会専門医・指導医 日本東洋医学会専門医・指導医 産業衛生学会専門医・指導医 日本プライマリケア連合学会認定医 日本人間ドック学会認定医・指導医 日本病態栄養学会 NST コーディネーター 労働衛生コンサルタント	昭和 57 年
川口 博之	一般内科部長	昭和 62 年

田中 創始	総合内科部長 兼 消化器内科部長 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本病院総合診療医学会認定特任指導医・評議員 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本膵臓学会認定指導医 ※令和6年1月末退職	平成8年
福島 大史	循環器内科 日本内科学会認定内科医	平成27年
山田 一貴	一般内科	平成30年
木村 紀翔	一般内科	平成31年
佐橋 篤佳	一般内科	平成31年
山田 嘉那子	一般内科 ※令和5年9月末退職	令和3年
田村 洋樹	一般内科 ※令和5年10月～	令和3年

2. 専門外来・主な取り組み

脳神経内科（月・火曜日）、循環器内科・血液内科（火曜日）、膠原病内科（水曜日）

呼吸器内科（木曜日）、糖尿病内科（木・金曜日）

消化器・肝臓病（第1・3金曜日）、ペースメーカークリニック（第2・4月曜日）

3. 診療実績

(単位：人、日)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来	延べ患者数	39,658	43,569	40,374
	一日平均患者数	163.2	179.3	166.1
入院	延べ患者数	26,195	26,381	27,765
	一日平均患者数	71.8	72.3	75.9
	平均在院日数	17.7	17.9	19.0

4. 令和5年度クリニカルインディケータ（DPCデータより）

(1)入院症例トップ3

傷病名	患者数
肺炎等	176
その他の感染症（真菌を除く）	138
小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む）	109

(2)手術症例トップ3

傷病名	患者数
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	118
内視鏡的胆道ステント留置術	29
胸水・腹水濾過濃縮再静注法	16

■ 小児科

1. 医師紹介

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
安井 奈津子	小児科部長 日本小児科学会専門医 日本アレルギー学会専門医 日本周産期新生児医学会新生児蘇生法 「専門」コース（Aコース）修了 小児科全般・アレルギー疾患	平成20年

2. 専門外来・主な取り組み

- 慢性疾患（喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、低身長、甲状腺疾患、夜尿症、てんかんなど）：月曜午後、木曜午後
- 乳児健診：水曜午後
- 1ヶ月健診：水曜午後
- 予防接種：火曜午後・金曜午後

3. 診療実績

（単位：人、日）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来	延べ患者数	7,249	8,051	8,956
	一日平均患者数	29.8	33.1	36.9
入院	延べ患者数	96	86	16
	一日平均患者数	0.3	0.2	0.0
	平均在院日数	3.2	2.0	1.3

4. 令和5年度クリニカルインディケーター（DPCデータより）

(1) 入院症例トップ3

傷病名	症例数
食物アレルギー	4
妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	2
下垂体機能低下症	1

■ 外科

1. 医師紹介

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
村元 雅之	副院長 兼 医療安全管理部長 兼 外科代表部長 日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本静脈経腸栄養学会認定医・評議員 愛知臨床外科学会評議員	昭和 61 年
保里 恵一	第 1 乳腺外科部長 兼 篠島診療所長 日本外科学会専門医 日本乳癌学会専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医 マンモグラフィ読影認定医 日本化学療法学会評議員 日本医師会産業医	昭和 56 年
長谷川 毅	一般外科部長 日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医 ※令和 5 年 12 月末退職	平成 4 年
杉戸 伸好	中央手術部長 日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 消化器がん外科治療認定医 日本消化管学会胃腸科専門医・指導医 日本がん治療認定医	平成 10 年

川瀬 麻衣	第2 乳腺外科部長 日本乳癌学会専門医 日本外科学会専門医	平成 16 年
内山 祐子	一般外科 日本外科学会専門医 ※令和 6 年 1 月末退職	平成 27 年

2. 専門外来・主な取り組み

乳腺専門外来 栄養サポート外来 褥瘡外来 血管外科
腹腔鏡手術 内痔核手術 化学療法

3. 診療実績

(1) 基本指標

(単位：人、日)

		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
外来	延べ患者数	8,539	8,444	8,424
	一日平均患者数	35.1	34.7	34.7
入院	延べ患者数	7,492	6,340	7,318
	一日平均患者数	20.5	17.4	20.0
	平均在院日数	20.7	15.5	16.3

4. 令和5年度クリニカルインディケーター（DPCデータより）

(1)入院症例トップ3

傷病名	症例数
乳房の悪性腫瘍	69
鼠径ヘルニア	55
ヘルニアの記載のない腸閉塞	36

(2)手術症例トップ3

傷病名	症例数
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	50
腹腔鏡下胆嚢摘出術	19
乳癌悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））	17

5. その他

(1) 手術件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全手術件数	266	252	291	268	286
全身麻酔	174	188	196	184	227
腹腔鏡下胆嚢摘出術	33	26	24	25	16
大腸癌 （うち腹腔鏡下手術）	26 (22)	25 (18)	21 (20)	15 (13)	15 (10)
乳癌手術	20	32	39	34	36
胃癌 （うち腹腔鏡下手術）	9 (3)	7 (3)	10 (3)	5 (2)	9 (2)
肺癌 （うち腹腔鏡下手術）					18 (17)
膵切除術	3	5	5	0	1
肝切除術 （うち腹腔鏡下手術）	1	3	3	1	1

■ 整形外科

1. 医師紹介

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
山田 聡	整形外科代表部長 日本整形外科学会専門医	平成5年
坪井 義晃	リハビリテーション科部長 日本整形外科学会専門医	平成17年
土井 孝信	リハビリテーション科医長 一般整形外科	平成24年

2. 専門外来・主な取り組み

- ・リウマチ科（毎週火曜日）

3. 診療実績

（単位：人、日）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来	延べ患者数	20,131	20,445	20,696
	一日平均患者数	82.8	84.1	85.2
入院	延べ患者数	7,757	11,836	12,577
	一日平均患者数	21.3	32.4	34.4
	平均在院日数	28.5	31.3	33.3
手術件数		258	219	244

4. 令和5年度クリニカルインディケーター（DPC データより）

(1) 入院症例トップ3

傷病名	症例数
股関節・大腿近位の骨折	83
胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む)	64
膝関節症（変形性を含む）	18
前腕の骨折	18

(2) 手術症例トップ3

手術名	症例数
骨折観血的手術(肩甲骨、上腕、大腿)	52
人工骨頭挿入術(肩、股)	34
人工関節置換術(肩、股、膝)	19

■ 脳神経外科

1. 医師紹介

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
水野 志朗	名誉院長 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 脳神経血管内治療学会専門医	昭和56年
福島 庸行	副院長 兼 第1診療部長 兼 第2診療部長 兼 地域医療福祉連携部長 兼 脳神経外科代表部長 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 認知症サポート医	昭和60年
中塚 雅雄	医療情報部長兼脳血管内治療部長 日本脳神経外科学会専門医 日本認知症学会専門医・指導医 日本脳卒中学会専門医・指導医 脳神経血管内治療学会専門医 認知症サポート医	平成2年
大島 望	脳神経外科部長 日本脳神経外科学会専門医	平成20年

2. 専門外来・主な取り組み

脳血管障害一般・神経外傷・認知症への対応

3. 診療実績

(単位：人、日)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来	延べ患者数	17,576	17,009	16,685
	一日平均患者数	72.3	70.0	68.7
入院	延べ患者数	15,078	13,094	12,824
	一日平均患者数	41.3	35.9	35.0
	平均在院日数	29.2	28.0	27.9
手術件数		43	35	20

4. 令和5年度クリニカルインディケータ（DPCデータより）

(1) 入院症例トップ3

傷病名	症例数
脳梗塞	104
頭蓋・頭蓋内損傷	56
非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）	25

(2) 手術症例トップ3

手術名	症例数
創傷処理	24
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	9
経皮的頸動脈ステント留置術	7

■ 皮膚科

1. 医師紹介

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
吉田 有友子	皮膚科医長 日本皮膚科学会専門医 緩和ケア研修会修了	平成 26 年

2. 専門外来・主な取り組み

- ・アトピー性皮膚炎、乾癬、掌蹠膿疱症、じんましん、天疱瘡・類天疱瘡、膠原病、皮膚良性・悪性腫瘍、皮膚潰瘍(褥瘡、熱傷も)、帯状疱疹、蜂窩織炎、多汗症(水道水によるイオントフォレーシス治療など)、円形脱毛症、男性型脱毛AGA〔自費治療：フィナステリド(ジェネリック薬)、ザガーロ®〕など
- ・光線治療に力を入れており、ナローバンドUVB、エキシマライトの2台にて、乾癬・アトピー性皮膚炎・掌蹠膿疱症、円形脱毛症などの治療を行っています。

3. 診療実績

(単位：人、日)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来	延べ患者数	13,857	12,465	11,868
	一日平均患者数	57.0	51.3	48.8
入院	延べ患者数	1,434	284	222
	一日平均患者数	3.9	0.8	0.6
	平均在院日数	15.3	7.9	10.0

4. 令和5年度クリニカルインディケータ (DPCデータより)

(1) 入院症例トップ3

傷病名	症例数
皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外)	8
帯状疱疹	4
膿皮症	4

(2)手術症例トップ3

傷病名	症例数
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	19
全層植皮術	3
皮膚切開術	2

■ 泌尿器科

1. 医師紹介

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
本間 秀樹	泌尿器科代表部長 日本泌尿器科学会専門医	平成1年

2. 専門外来・主な取り組み

- ・内視鏡手術の実施

3. 診療実績

(単位：人、日)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来	延べ患者数	7,347	7,467	7,324
	一日平均患者数	30.2	30.7	30.1
入院	延べ患者数	368	520	563
	一日平均患者数	1.0	1.4	1.5
	平均在院日数	14.1	16.2	22.9

4. 令和5年度クリニカルインディケータ（DPCデータより）

(1) 入院症例トップ3

傷病名	症例数
膀胱腫瘍	6
前立腺の悪性腫瘍	4
男性生殖器疾患	4

(2) 手術症例トップ3

手術名	症例数
膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(その他)	1
膀胱結石(異物)摘出術(経尿道的手術)	1
経尿道的尿管ステント留置術	1

■ 産婦人科

1. 医師紹介

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
菱田 克己	日本産婦人科学会専門医 母体保護法指定医 日本医師会認定産業医	昭和 48 年
柴田 金光	婦人科部長 日本産婦人科学会専門医・指導医 母体保護法指定医	昭和 53 年
十河 千恵	産婦人科医長 日本産婦人科学会専門医 緩和ケア講習会修了 母体保護法指定医 新生児蘇生法Aコース修了	平成 24 年
加藤 綾美		平成 27 年

2. 専門外来・主な取り組み

- ・産科
- ・婦人科（不妊症・更年期障害・子宮内膜症など）

3. 診療実績

（単位：人、日、件）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来	延べ患者数	5,115	5,436	5,417
	一日平均患者数	21.0	22.4	22.3
入院	延べ患者数	907	652	466
	一日平均患者数	2.5	1.8	1.3
	平均在院日数	7.9	5.7	5.5
分娩件数		51	39	30
手術件数		42	48	37

4. 令和5年度クリニカルインディケーター（DPC データより）

(1) 入院症例トップ3

傷病名	症例数
分娩の異常	14
子宮頸・体部の悪性腫瘍	9
生殖器脱出症	5

(2) 手術症例トップ3

手術名	症例数
子宮頸部（腔部）切除術	8
子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（開腹）	7
子宮全摘術	7

■ 眼科

1. 医師紹介

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
吉田 直子	眼科部長 日本眼科学会専門医	平成3年
小坂 拓也	眼科医長 日本眼科学会専門医	平成28年

2. 専門外来・主な取り組み

- ・ 白内障手術

3. 診療実績

(単位：人、日)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来	延べ患者数	10,238	10,765	10,726
	一日平均患者数	42.1	44.3	44.1
入院	延べ患者数	934	1,197	1,310
	一日平均患者数	3.1	3.3	3.6
	平均在院日数	2.6	3.9	4.5
白内障手術件数		275	321	340
硝子体内注射件数		95	113	155

4. 令和5年度クリニカルインディケーター（DPCデータより）

(1) 入院症例トップ3

傷病名	症例数
白内障、水晶体の疾患	224
黄斑、後極変性	3
糖尿病性増殖性網膜症	2
結膜の障害	2

(2) 手術症例トップ3

手術名	症例数
水晶体再建術(眼内レンズを挿入)(その他)	223
虹彩整復・瞳孔形成術	7
水晶体再建術(眼内レンズを挿入)(縫着レンズ挿入)	4
水晶体再建術(眼内レンズを挿入しない)	4
硝子体切除術	4

■ 耳鼻いんこう科

1. 医師紹介

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
堀部 兼孝	耳鼻いんこう科部長 日本耳鼻咽喉科学会専門医 ※令和5年12月末退職	平成23年

2. 専門外来・主な取り組み

慢性疾患外来（アレルギー性鼻炎・滲出性中耳炎など）： 火曜日・木曜日の午後
難聴・補聴器外来： 火曜日・木曜日の午前

3. 診療実績

（単位：人、日）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来	延べ患者数	7,913	9,994	10,219
	一日平均患者数	32.6	41.1	42.1
入院	延べ患者数	103	401	425
	一日平均患者数	0.3	1.1	1.2
	平均在院日数	12.3	5.5	5.2

4. 令和5年度クリニカルインディケータ（DPCデータより）

（1）入院症例トップ3

傷病名	症例数
睡眠時無呼吸	17
前庭機能障害	12
扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	9

（2）手術症例トップ3

手術名	症例数
内視鏡下鼻・副鼻腔手術3型（選択的（複数洞）副鼻腔手術）	7
口蓋扁桃手術（摘出）	5
鼻中隔矯正術	2

■ 麻酔科

1. 医師紹介

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
成宮なつみ	麻酔科部長 日本麻酔科学会専門医	平成19年

2. 専門外来・主な取り組み

- ・麻酔科診察
- ・救急ファーストタッチ

3. 診療実績

(単位：件)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全身麻酔	315	327	327
脊椎麻酔	109	161	132
局部麻酔	655	716	740
合計	1,079	1,204	1,199

部署別業務実績

【診療協同部】	
・ 診療放射線室	42
・ 臨床検査室	48
・ リハビリテーション室	52
・ 臨床工学室	56
・ 栄養管理室	63
【薬剤部】	67
【看護部】	70
【医療安全管理部】	78
【感染制御部】	80
【事務部】	82
【医療情報部】	88
【保健事業部】	89
【地域医療福祉連携部】	91

■ 診療協同部 — 診療放射線室

1. 部署目標

- ・救急医療の充実
- ・医療の質の向上
- ・医療安全管理の充実
- ・住民との連携体制の充実
- ・保健事業の充実
- ・働き方改革への対応
- ・医療情報システムの安定稼働

2. 活動内容と評価

(1) 「救急医療の充実」について

- ・現代の救急医療において、CT 検査は欠かすことのできない重要な検査として確立されており、診断や治療の決定に大きな役割を果たしています。そこで診療放射線室としては「救急医療の充実」を目標として掲げ、緊急 CT 検査の受入数をこれまで以上に増加させることにより救急医療に貢献できるものと考え、令和 5 年度は活動して参りました。具体的には、これまで必須としてきた緊急 CT 検査時の電話連絡を不要とすることにより、業務を簡素化し作業効率の向上を図ると同時に、検査依頼のハードルを下げることにより、依頼件数の増加を目指すこととしました。その結果、診療時間内における緊急 CT の検査件数は、令和 4 年度が 3,341 件であったのに対し令和 5 年度は 3,644 件となり、前年度対比 109.1% と大幅に増加させることができ、大きな成果があったものと評価しております。また、STAT 画像（生命予後にかかわる緊急性の高い疾患の所見がある画像）所見報告は、患者が早期治療を受ける機会を逸し死亡する事態を避けるため、画像検査に直接携わる診療放射線技師の責務であり、また救急医療には必須のものであるとの認識のもと、令和 5 年度より取り組みを開始しており、令和 6 年度中には体制を構築しようと考えております。引き続き「救急医療の充実」の一端を担う職種としての自覚と責任を持ち、地域医療に貢献していきたいと考えております。

(2) 「医療の質の向上」について

- ・診療放射線室における「医療の質の向上」とは、診療放射線技師としての技術と知識の維持継続、並びに更なる向上であるとの認識のもと、2つの大きな施設認定である「医療被ばく低減施設認定」と「マンモグラフィ検診施設画像認定」を更新することにより、担保されるものと考え取り組んで参りました。「医療被ばく低減施設認定」に関しましては、書面審査合格後、更新に必要な膨大な書類等を整え訪問審査（コロナによりオンラインで実施）に臨み、令和 5 年 5 月 1 日付けで認定機構である「日本

診療放射線技師会」より認定更新が承認されました。「マンモグラフィ検診施設画像認定」に関しましても、更新に必要なデータ等を整え、令和5年8月1日付けで認定機構である「日本乳がん検診精度管理中央機構」より認定更新が承認されました。今回の一連の更新により、組織としてはもちろんのこと個人単位としても向上が図れたものと認識しており、一定の成果は得られたものと評価しております。

(3) 「医療安全管理の充実」について

- ・ インシデントレポートを調査分析し、それに対する改善策や対応策を検討実施することにより「医療安全管理の充実」が図れるものと考え取り組んで参りました。インシデントレポートの報告数は、各個人がその必要性をしっかりと認識し行動に移せたことにより、令和4年度は16件の報告数であったのに対し、令和5年度は60件と実に前年度対比375%と大幅に増加しており、意識の醸成は十分に図れたものと評価しております。また、レポートをもとにいくつかの改善を図ることもでき、医療安全管理としては確実にこの一年で進歩したものと評価しております。令和6年度以降も継続して高い意識を持ち続け、取り組みを継続して参ります。

(4) 「住民との連携体制の充実」について

- ・ 地域住民の方に向けて新たな情報を発信することは、地域医療を担う上で重要な要素であると認識しており、継続してホームページの定期的な更新を行って参ります。

(5) 「保健事業の充実」について

- ・ 医療収益による収益の増加が、取り巻く環境等の影響により、今後は大きく期待できない状況下において、保健事業における安定的な収益の確保は何よりも重要と考え、「保健事業の充実」を目標として掲げました。具体的には、診療放射線室において積極的に超音波検査に対応できる診療放射線技師を養成し、院内における超音波検査体勢の充実に貢献することにより、保健事業全体の底上げが図れるものと考え、臨床検査室のご協力を得ながら研修を行ってきました。令和6年3月末時点で、腹部超音波検査に対応できる診療放射線技師を2名、乳腺超音波検査に対応できる診療放射線技師を2名養成することができました。今後は病院の方向性を十分に鑑み、臨床検査室を主幹とした超音波検査に可能な限り協力していく立場で貢献していきたいと考えております。

(6) 「働き方改革への対応」について

- ・ 医師から診療放射線技師へのタスク・シフティングにより、医師の働き方改革を推進することを目的とした、診療放射線技師の業務を拡大するための法律が、令和3年10月1日に施行され、それに伴い、法律に対応するための告示研修が令和3年7

月 31 日より開始されました。診療放射線室としては法律を遵守するとともに、タスク・シフティングを推進していくためには、全員が告示研修を終えて確実な体制を整備することが何より必要と考え、各自が研修に取り組みました。令和 6 年 3 月末時点で、診療放射線技師全員が告示研修を終了しており、診療放射線技師によるタスク・シフティングが実施可能な状況となりました。しかしながら当院の現状を鑑みると、診療放射線技師へのタスク・シフティングの実施、特に造影剤を使用した検査のために静脈路を確保する行為などの実施は、メリットよりもデメリットの方が大きく、必ずしも当院に有益とはならないのではと判断し、当面は実施しないこととしました。今後は、当院における診療放射線技師によるタスク・シフティングの必要性を慎重かつ継続的に協議検討していくなかで、有益となり得る実施可能な事項から取り組んでいければと考えております。

(7) 「医療情報システムの安定稼働」について

- ・これまで電子カルテ・部門システムの更新に際し、当院診療放射線室に相応しいシステムを構築するため、必要な種々の情報・知識を取得し、医療情報室と協議を重ね、令和 6 年 3 月に医療用画像管理システム（PACS）並びに放射線情報システム（RIS）を更新しました。また、新たに放射線被ばく管理システムを導入するとともに、RIS において各撮影装置の始業終業点検が管理できるようになるなど、さらなる進歩を続けております。今後は各システムの有効的な活用、並びに安定的な稼働に努めて参ります。

3. 業務実績

(1) 検査件数

令和5年度 診療放射線室 検査件数

全検査数

項目	令和5年度合計	令和4年度合計	前年度比較
一般撮影	22,682	22,818	99.4%
マンモ	1,686	1,731	97.4%
TV検査	3,182	3,310	96.1%
血管検査	116	159	73.0%
CT検査	8,895	8,848	100.5%
MRI検査	4,779	4,913	97.3%
骨塩定量	759	763	99.5%
画像処理	1,899	1,967	96.5%
術中透視	0	2	0%
合計	43,995	44,511	98.8%

健診検査件数（再掲）

項目	令和5年度合計	令和4年度合計	前年度比較
胸部	3,225	3,208	100.5%
マンモ	928	955	97.2%
胃透視	1,293	1,257	102.9%
胃内視鏡	951	998	75.7%
CT検査	244	268	91.0%
MRI検査	393	413	95.2%
骨塩定量	180	164	109.8%
合計	6,263	6,265	100.0%

健診合計件数には胃内視鏡件数は含まず

4. その他

(1) 人員体制について（令和6年3月31日現在）

診療放射線技師	9名（男性6名、女性3名）
放射線（1Bブロック）看護師	8名
受付事務員（1Bブロック）	2名（午後1名）

(2) 画像診断関連機器一覧 令和5年度

撮影室	室番号	装置名(用途)	機種名	メーカー	取得年月日
一般撮影室 6	6	撮影装置	UD150L-40(50KW)	島津	2009/7/30
		画像処理装置	Console Advance	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		FPD撮影装置	CALNEO Smart C77 (SE1:立位)	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		FPD撮影装置	CALNEO Smart C77 (SE2:臥位)	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		FPD撮影装置	CALNEO Smart C47 (SE7:半切)	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		FPD撮影装置	CALNEO Smart C12 (SE10:四つ切)	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		CR読取装置	FCR PRIMA(カセットリーダー)	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		FPD用充電スタンド	ドッキングスタンド	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		FPD用充電スタンド	ドッキングスタンド	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		撮影室内用画像表示端末	i-Pad mini	オリオンラドセフメディカル	2018/10/15
一般撮影室 7	7	撮影装置	UD150L-40(50KW)	島津	2009/7/30
		画像処理装置	Console Advance	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		FPD撮影装置	CALNEO Smart C77 (SE3立位)	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		FPD撮影装置	CALNEO Smart C77 (SE4:臥位)	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		FPD撮影装置	CALNEO Smart C47 (SE8:半切)	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		FPD撮影装置	CALNEO Smart C12 (SE11:四つ切)	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		FPD用充電スタンド	ドッキングスタンド	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		FPD用充電スタンド	ドッキングスタンド	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		撮影室内用画像表示端末	i-Pad mini	オリオンラドセフメディカル	2018/10/15
		マンモ・ 骨塩定量 撮影室8	8	撮影装置	MAMMOMAT1000
画像処理装置	Console Advance			富士フィルムメディカル	2018/10/15
CR読取装置	FCR PROFECT CS(カセットリーダー)			富士フィルムメディカル	2018/10/15
	8	撮影装置	Dichroma Scan DCS-600EXV	日立アロカ	2009/7/30
健康管理支 援センター (胸部撮影)		撮影装置	RADIOTEX CH-200	島津	2009/7/30
		画像処理装置	Console Advance	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		FPD撮影装置	CALNEO Smart C77 (SE5)	富士フィルムメディカル	2018/10/15
		撮影室内用画像表示端末	i-Pad mini	オリオンラドセフメディカル	2018/9/25
病棟用		回診型撮影装置	MobileDalt Evolution MX8VersionK	島津	2021/3/17
		FPD撮影装置	AeroDR 1717 FINE	コニカミノルタ	2021/3/17
		FPD用充電スタンド	AeroDR クレードル2	コニカミノルタ	2021/3/17
手術室		回診型撮影装置	MobileDalt Evolution MX8VersionK	島津	2021/3/17
		FPD撮影装置	AeroDR 1717 FINE	コニカミノルタ	2021/3/17
		FPD用充電スタンド	AeroDR クレードル2	コニカミノルタ	2021/3/17
		OPE用透視装置	SIREMOBIL Compact L	シーメンス	2007/8/10
		OPE用透視装置	OPESCOPE ACTENO	島津	2022/3/1
TV室2	2	撮影装置	ZEXIRA 1314 (F.P.D.)	キャノン	2021/10/1
		撮影制御装置	DREX-ZX80	キャノン	2021/10/1
TV室9	9	撮影装置	ZEXIRA FPD Version (F.P.D.)	キャノン	2009/7/30
		撮影制御装置	HDR-1000A	キャノン	2009/7/30
		撮影装置	Aquillion Prime SP TSX-303B	キャノン	2019/5/7
		造影剤自動注入器	Dual Shot GX7	根本杏林堂	2019/5/7
		ワークステーション	ZIOSTATION2 TypeH	アミン	2019/5/7
		ワークステーション	ZIOSTATION2Classic	アミン	2012/7/21
		テラステーション	terastation Pro	バッファロー	2009/7/7

CT室	5	Xe-CT測定装置	コールドキセノンガス吸入装置AZ-727N	安西	2021/8/11
		回診型撮影装置	MobileArtEvolution	島津	2011/4/10 (新古車)
		画像処理装置	Console Advance (モバイルタイプ)	富士フイルムメディカル	2018/10/15
		FPD撮影装置	CALNEO Smart C77 (SE6)	富士フイルムメディカル	2018/10/15
		FPD撮影装置	CALNEO Smart C12 (SE12:四つ切)	富士フイルムメディカル	2018/10/15
		FPD用充電スタンド	ドッキングスタンド	富士フイルムメディカル	2018/10/15
		FPD用充電スタンド	ドッキングスタンド	富士フイルムメディカル	2018/10/15
MRI室	4	撮影装置	Ingenia1.5T	フィリップス	2015/9/25
		ワークステーション	バーチャルプレイス風神RM-01123791	AZE	2015/9/25
		生体情報モニター	Invivo Essentil	コニカミノルタ	2015/9/25
		造影剤自動注入器	ソニックショット7	根本杏林堂	2015/9/25
血管撮影室	3	撮影装置	AXIOM Artis zee BA	シーメンス	2022/1/18
		ポリグラフ	RMC-4000M	日本光電	2008/8/4
		造影剤自動注入器	プレスプロ150	根本杏林堂	2009/7/30
		ワークステーション	syngoX-Workplace	シーメンス	2022/1/18
一般撮影 操作室		film読み取り装置	AOC Scan1.5	アレイ	2017/3/21
		ドライイメージャー	DRY PIX EDGE	富士フイルムメディカル	2018/9/18
		画像検像装置	iRad-QA	インフォコム	2017/3/21
感染症病棟		回診型撮影装置	MobileArtEvolution	島津	2010/6/1
		画像処理装置	Console Advance (モバイルタイプ)	富士フイルムメディカル	2018/10/15
		FPD撮影装置	CALNEO Smart C47 (SE9:半切)	富士フイルムメディカル	2018/10/15
		FPD用充電スタンド	ドッキングスタンド	富士フイルムメディカル	2018/10/15
篠島診療所		診断用X線装置	エクシープロMバック	島津	2011/11/1
		画像処理装置	画像診断WS Unitea α	コニカミノルタ	2021/3/10
		FPD撮影装置	AeroDR 1317 Premium	コニカミノルタ	2021/3/10
		FPD用充電スタンド	AeroDR クレードル2	コニカミノルタ	2021/3/10
		診断用モニター	EV2456Bk	EIZO	2021/3/10

■ 診療協同部 ー 臨床検査室

1. 部署目標

- ・検査結果の質向上に向けた内部・外部精度管理の充実
- ・健診超音波検査体制の充実
- ・コスト削減、検査の効率化に向けた対策
- ・有給休暇の取得、時間外労働の削減、タスクシフトの取組み
- ・電子カルテ・部門システム更新への対応

2. 活動内容と評価

(1) 検査結果の質向上に向けた内部・外部精度管理の充実について

- ・臨床検査の質向上および維持に向け、内部および外部精度管理に取り組んだ。内部精度管理は日々システム画面上での確認に加え、アクションを起こした記録を付加した管理表を印刷し確認した。外部精度管理調査では技師会および医師会主催の精度管理調査やメーカーサーベイなどに参加し、概ね高評価を得られた。

(2) 健診超音波検査体制の充実について

- ・超音波検査の充実に向け、検査室超音波検査予約枠の拡充、超音波検査担当者の教育・育成、医局会を通じて検査室での超音波検査拡充のアピールなどを実施した。徐々に検査数が増加傾向であるが、来年度は健診部門においても超音波検査体制の拡充に向け努力していきたい。

(3) コスト削減、検査の効率化に向けた対策について

- ・コスト削減に向け、検査試薬・検査材料および外部委託検査の価格交渉により、合わせて年額 125 万円ほどの削減をすることが出来た。生化学検査機器は 2 台運用が定着し、少しずつ効率化が出来たと感じる。効率化で生かした人材を採血室などへのタスクシフトとして充実していきたい。

(4) 有給休暇の取得、時間外労働の削減、タスクシフトの取組みについて

- ・有給休暇を取得しやすい環境づくりに取り組み、前年よりも日数増加となった。偏った部署の時間外労働削減を目指し、時間外が多い部署への原因追究を行い削減へと導く事ができた。採血室へのタスクシフトを考えていたが、人員の関係で思うように行動できなかった。

(5) 電子カルテ・部門システム更新への対応について

- ・電子カルテ更新時に、部門システム（検体・輸血・生理検査）の更新も行った。概ね順調に進めることが出来、滞る等の問題なく稼働することが出来た。マニュアルを整備し、システムダウン時などに活用していきたい。

3. 業務実績

稼働件数		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比
一般検査	尿	38,744	98.4	37,712	97.3	35,087	93.0	35,005	99.8	37,941	108.4	39,200	103.3
	便	4,424	104.3	4,625	104.5	4,404	95.2	4,826	109.6	4,973	103.0	5,165	103.9
	体液	429	87.9	535	124.7	408	76.3	503	123.3	341	67.8	423	124.0
血液検査	血液	111,052	94.0	106,244	95.7	106,442	100.2	111,978	105.2	109,480	97.8	107,234	97.9
輸血検査	輸血	2,453	90.3	2,505	102.1	2,768	110.5	2,628	94.9	2,610	99.3	2,741	105.0
臨床化学	化学1	809,202	94.3	796,342	98.4	795,189	99.9	822,000	103.4	811,492	98.7	815,088	100.4
	化学2	33,489	100.0	33,799	100.9	33,785	100.0	37,338	110.5	40,344	108.1	40,245	99.8
	血液ガス	588	78.0	704	119.7	985	139.9	1,061	107.7	1,120	105.6	1,619	144.6
	負荷試験	9	33.3	9	100.0	9	100.0	12	133.3	20	166.7	6	30.0
微生物検査	一般細菌	9,873	87.8	10,416	105.5	8,119	77.9	9,988	123.0	8,153	81.6	10,714	131.4
	微生物核酸検査	0	—	0	—	1,358	—	2,951	217.3	6,064	205.5	56	0.9
	その他	743	105.8	700	94.2	817	116.7	721	88.2	710	98.5	714	100.6
免疫検査	免疫	50,485	92.6	50,465	100.0	50,622	100.3	55,180	109.0	65,739	119.1	58,804	89.5
病理	病理組織	1,327	76.9	1,455	109.6	1,561	107.3	1,646	105.4	1,616	98.2	1,182	73.1
	細胞診	2,813	95.2	2,799	99.5	2,673	95.5	1,825	68.3	1,867	102.3	1,449	77.6
生理検査	肺機能	4,092	101.3	4,236	103.5	3,129	73.9	3,539	113.1	3,801	107.4	4,234	111.4
	心電図	8,590	94.8	9,232	107.5	8,920	96.6	9,759	109.4	9,658	99.0	9,458	97.9
	超音波	4,889	93.5	4,902	100.3	4,885	99.7	5,022	102.8	5,054	100.6	4,933	97.6
	脳波	127	87.0	166	130.7	145	87.3	138	95.2	160	115.9	152	95.0
	その他	3,750	100.4	3,962	105.7	3,450	87.1	3,903	113.1	4,275	109.5	4,445	104.0
その他	病理解剖	0	—	2	—	0	—	2	—	0	—	0	—
	採血	29,025	93.1	28,126	96.9	27,761	98.7	27,842	100.3	27,974	100.5	27,523	98.4
	輸血製剤管理	1,010	85.7	864	85.5	956	110.6	943	98.6	1,421	150.7	989	69.6
	その他(DM指導等)	265	127.4	75	28.3	31	41.3	27	87.1	18	66.7	15	83.3
稼働件数合計		1,117,379	94.4	1,099,875	98.4	1,093,504	99.4	1,138,837	104.1	1,144,831	100.5	1,136,389	99.3

稼働点数		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		点数	前年対比	点数	前年対比	点数	前年対比	点数	前年対比	点数	前年対比	点数	前年対比
一般検査	尿	1,385,359	82.3	1,360,121	98.2	1,197,055	88.0	1,115,417	93.2	1,223,742	109.7	1,278,836	104.5
	便	165,907	97.6	173,825	104.8	165,179	95.0	178,618	108.1	203,905	114.2	211,726	103.8
	体液	6,062	131.2	9,015	148.7	6,027	66.9	7,916	131.3	4,808	60.7	5,701	118.6
血液検査	血液	2,807,192	96.9	2,696,696	96.1	2,797,264	103.7	2,984,456	106.7	2,887,967	96.8	2,778,134	96.2
輸血検査	輸血	140,809	84.3	137,055	97.3	145,274	106.0	135,480	93.3	149,957	110.7	148,083	98.8
臨床化学	化学1	10,334,978	101.6	10,079,189	97.5	10,029,170	99.5	10,678,520	106.5	10,641,649	99.7	10,633,226	99.9
	化学2	4,509,504	103.0	4,512,235	100.1	4,405,187	97.6	4,818,441	109.4	5,055,093	104.9	5,026,814	99.4
	血液ガス	82,320	74.3	98,560	119.7	136,915	138.9	147,479	107.7	151,200	102.5	294,658	194.9
	負荷試験	1,800	75.0	1,800	100.0	1,800	100.0	2,400	133.3	4,000	166.7	1,200	30.0
微生物検査	一般細菌	1,105,082	97.8	1,189,944	107.7	881,267	74.1	1,122,913	127.4	1,184,664	105.5	1,315,174	111.0
	微生物核酸検査	0	—	0	—	183,236	—	2,962,290	—	4,244,800	—	39,200	0.9
	その他	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
免疫検査	免疫	2,828,538	106.4	2,762,659	97.7	3,889,372	140.8	6,386,840	164.2	11,024,836	172.6	6,137,801	55.7
病理	病理組織	1,377,540	91.4	1,498,270	108.8	1,627,800	108.6	1,663,010	102.2	1,640,480	98.6	1,244,070	75.8
	細胞診	450,670	99.7	453,310	100.6	413,574	91.2	315,505	76.3	324,654	102.9	268,082	82.6
生理検査	肺機能	388,740	103.3	403,980	103.9	299,220	74.1	338,300	113.1	364,370	107.7	405,280	111.2
	心電図	1,416,950	118.9	1,414,220	99.8	1,420,560	100.4	1,532,530	107.9	1,524,830	99.5	1,513,450	99.3
	超音波	2,350,160	104.5	2,395,540	101.9	2,405,350	100.4	2,480,620	103.1	2,487,660	100.3	2,413,080	97.0
	脳波	116,186	77.8	139,438	120.0	123,290	88.4	126,060	102.2	154,280	122.4	201,120	130.4
	その他	599,490	101.7	687,400	114.7	563,260	81.9	655,660	116.4	807,440	123.1	804,920	99.7
その他	病理解剖	0	—	50,000	—	0	—	50,000	—	0	—	0	—
	採血	870,750	101.4	782,610	89.9	971,635	124.2	974,470	100.3	1,035,038	106.2	1,018,351	98.4
	輸血製剤管理	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
	その他(CGM)	138,600	—	28,700	—	21,700	75.6	18,900	87.1	12,600	66.7	10,500	83.3
稼働点数合計		31,076,637	100.8	30,874,567	99.3	33,333,259	108.0	38,695,825	116.1	45,127,973	116.6	35,749,406	79.2

判断料 件数		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比
検査判断料	尿・糞便等検査	10,008	99.7	9,843	98.4	9,228	93.8	8,801	95.4	10,137	115.2	10,707	105.6
	血液学的検査	28,864	101.8	28,105	97.4	28,095	100.0	28,512	101.5	28,465	99.8	28,064	98.6
	生化学的検査（Ⅰ）	28,660	102.2	27,910	97.4	27,978	100.2	28,471	101.8	28,503	100.1	28,165	98.8
	生化学的検査（Ⅱ）	10,110	106.2	9,691	95.9	9,664	99.7	10,624	109.9	11,591	109.1	11,800	101.8
	免疫学的検査	15,147	108.2	14,371	94.9	14,493	100.8	19,250	132.8	24,550	127.5	18,958	77.2
	微生物学的検査	2,320	119.2	2,247	96.9	3,339	148.6	5,174	155.0	4,321	83.5	2,701	62.5
	病理学的検査	997	51.4	915	91.8	918	100.3	999	108.8	1,068	106.9	1,092	102.2
	呼吸機能検査	305	98.1	356	116.7	407	114.3	464	114.0	590	127.2	590	100.0
	脳波検査	87	78.6	98	112.6	58	59.2	74	127.6	109	147.3	92	84.4
神経・筋検査	34	140.5	30	88.2	30	100.0	35	116.7	28	80.0	43	153.6	
検査判断総件数		96,532	102.6	93,566	96.9	94,210	100.7	102,404	108.7	109,362	106.8	102,212	93.5

その他加算 件数		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比
病理診断料		1163	145.6	1,199	103.1	1,325	110.5	1,397	105.4	1,429	102.3	985	68.9
細胞診断料		499	—	561	—	604	107.7	556	92.1	498	89.6	508	102.0
検体検査管理加算Ⅰ		36,815	102.2	35,321	95.9	32,918	93.2	35,203	106.9	42,334	120.3	37,738	89.1
検体検査管理加算Ⅱ		328	108.7	317	96.6	348	109.8	1,558	447.7	1,107	71.1	410	37.0
パルスドブラ法加算		101	137.1	171	169.3	194	113.5	216	111.3	226	104.6	196	86.7
乳幼児加算		90	119.4	85	94.4	82	96.5	181	220.7	201	111.0	155	77.1
時間外緊急院内検査加算		1,724	103.8	1,465	85.0	913	62.3	1,010	110.6	1,675	165.8	1,998	119.3
生化学入院時初回加算		152	118.8	182	119.7	390	214.3	550	141.0	499	90.7	527	105.6
外来迅速加算		34,496	100.8	34,033	98.7	33,534	98.5	34,277	102.2	33,960	99.1	33,611	99.0
輸血管理料Ⅰ		223	100.7	200	89.7	199	99.5	212	106.5	213	100.5	219	102.8
輸血適正使用加算Ⅰ		223	100.7	200	89.7	199	99.5	212	106.5	213	100.5	219	102.8
合計 件数		75,814	102.9	73,734	97.3	70,706	95.9	75,372	106.6	82,355	109.3	76,566	93.0

判断料 点数		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		点数	前年対比	点数	前年対比	点数	前年対比	点数	前年対比	点数	前年対比	点数	前年対比
検査判断料	尿・糞便等検査	340,272	99.7	334,662	98.4	313,752	93.8	299,234	95.4	344,658	115.2	364,038	105.6
	血液学的検査	3,608,000	101.8	3,513,125	97.4	3,511,875	100.0	3,564,000	101.5	3,558,125	99.8	3,508,000	98.6
	生化学的検査（Ⅰ）	4,127,040	102.2	4,019,040	97.4	4,028,832	100.2	4,099,824	101.8	4,104,432	100.1	4,055,760	98.8
	生化学的検査（Ⅱ）	1,455,840	106.2	1,395,504	95.9	1,391,616	99.7	1,529,856	109.9	1,669,104	109.1	1,699,200	101.8
	免疫学的検査	2,181,168	108.2	2,069,424	94.9	2,086,992	100.8	2,772,000	132.8	3,535,200	127.5	2,729,952	77.2
	微生物学的検査	348,000	119.2	337,050	96.9	500,850	148.6	776,100	155.0	648,150	83.5	405,150	62.5
	病理学的検査	149,550	51.4	137,250	91.8	137,700	100.3	149,850	108.8	138,840	92.7	141,960	102.2
	呼吸機能検査	42,700	98.1	49,840	116.7	56,980	114.3	64,960	114.0	82,600	127.2	82,600	100.0
	脳波検査	15,660	78.6	17,640	112.6	10,440	59.2	13,320	127.6	19,620	147.3	16,560	84.4
神経・筋検査	6,120	140.5	5,400	88.2	5,400	100.0	6,300	116.7	5,040	80.0	7,740	153.6	
検査判断総点数		12,274,350	102.8	11,878,935	96.8	12,044,437	101.4	13,275,444	110.2	14,105,769	106.3	13,010,960	92.2

その他加算 点数	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	点数	前年対比	点数	前年対比	点数	前年対比	点数	前年対比	点数	前年対比	点数	前年対比
病理診断料	523,350	142.2	539,550	103.1	596,250	110.5	628,650	105.4	743,080	118.2	512,200	68.9
細胞診診断料	99,800	—	112,200	—	120,800	107.7	111,200	92.1	99,600	89.6	101,600	102.0
検体検査管理加算 I	1,472,600	102.8	1,412,840	95.9	1,316,720	93.2	1,397,680	106.1	1,693,360	121.2	1,509,520	89.1
検体検査管理加算 II	32,800	21.8	31,700	96.6	34,800	109.8	155,800	447.7	110,700	71.1	71,800	64.9
バルスドブラ法加算	20,200	134.3	34,200	169.3	38,800	113.5	43,200	111.3	45,200	104.6	39,200	86.7
乳幼児加算	2,250	114.7	2,125	94.4	2,050	96.5	4,525	220.7	6,030	133.3	4,650	77.1
時間外緊急院内検査加算	344,800	103.8	293,000	85.0	182,600	62.3	202,000	110.6	335,000	165.8	399,600	119.3
生化学入院時初回加算	3,040	123.7	3,640	119.7	7,800	214.3	11,000	141.0	9,980	90.7	10,540	105.6
外来迅速加算	1,496,640	98.9	1,359,340	90.8	1,475,270	108.5	1,500,240	101.7	1,486,590	99.1	1,478,090	99.4
輸血管管理料 I	49,060	102.2	44,000	89.7	43,780	99.5	46,640	106.5	46,860	100.5	48,180	102.8
輸血適正使用加算	26,760	102.2	24,000	89.7	23,880	99.5	25,440	106.5	25,560	100.5	26,280	102.8
合計 点数	4,071,300	105.0	3,856,595	94.7	3,842,750	99.6	4,126,375	107.4	4,601,960	111.5	4,201,660	91.3

検査委託		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比
委託件数	保険収載件数	15,072	109.5	14,018	93.0	15,760	112.4	18,857	119.7	20,761	110.1	18,695	90.0
	未保険収載件数	503	86.7	480	95.4	725	151.0	1,131	156.0	1,115	98.6	1,224	109.8
	管理料件数	0	—	236	—	189	80.1	172	91.0	174	101.2	243	139.7
総件数		15,575	108.3	14,734	94.6	16,674	113.2	20,160	120.9	22,050	109.4	20,162	91.4
委託支払額	保険項目支払小計	15,164,245	105.9	14,565,148	96.0	15,920,719	109.3	21,341,857	134.1	20,983,098	98.3	18,822,280	89.7
	未保険項目支払小計	1,184,693	114.5	1,557,115	131.4	1,930,125	124.0	3,856,416	199.8	3,805,580	98.7	3,684,272	96.8
	管理料支払小計	0	—	232,958	—	180,173	77.3	155,528	86.3	158,158	101.7	255,934	161.8
総支払い額		16,348,938	106.9	16,355,221	100.0	18,031,017	110.2	25,353,801	140.6	24,946,836	98.4	22,762,486	91.2
委託検査収入	総保険点数請求額	32,417,680	114.2	30,202,290	93.2	33,135,380	109.7	41,683,310	125.8	45,934,660	110.2	44,082,630	96.0
	利益差	16,068,742	122.3	13,847,069	86.2	15,104,363	109.1	16,329,509	108.1	26,859,116	164.5	26,971,466	100.4
消費額	薬品費	62,249,580	96.6	57,095,341	91.7	66,305,369	116.1	72,908,086	110.0	76,626,901	105.1	66,327,712	86.6
	医療材料費	5,772,689	101.5	3,568,383	61.8	5,560,218	155.8	8,254,098	148.4	8,436,871	102.2	7,031,079	83.3
薬品費材料費合計		68,022,269	97.0	60,663,724	89.2	71,865,587	118.5	81,162,184	112.9	85,063,772	104.8	73,358,791	86.2

令和5年度まとめ

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけが「2類相当」から「5類感染症」に移行された。感染者数増加の小さな波が見られたが、関連検査数や陽性率は30%ほどに減少した年度であった。そのため診療報酬ではコロナ遺伝子検査（微生物核酸検査）で約4,200万円、抗原検査（免疫検査）等で約4,900万円の減収となったが、薬品費、医療材料費も合わせて1,200万円の減額であった。

他検査については、一般検査や細菌検査で稼働件数・点数の増加が見られたが、血液検査や病理検査では稼働件数、稼働点数に加え検査判断料件数・点数、加算件数・点数などは減少が見られた。検査委託については委託件数・支払額、総保険点数請求額が減少しているが、利益差は前年と同様であった。

■ 診療協同部 リハビリテーション室

1. 部門（部署）目標

診療体制の充実

- ・リハビリテーション室内のチーム体制整備と入院、外来、訪問リハビリ、通所リハビリ業務の充実

経営の安定化に向けた対策

- ・施設基準の遵守と付加価値増加の対策

医療情報システムの安定稼働

- ・次期医療システムと部門システムのオペレーションの充実

訪問看護ステーションの充実

- ・訪問リハビリ業務の整備と充実

医療の質の向上

- ・教育の充実

医療の質の向上

- ・マニュアル、手順書の整備と充実

医療安全管理の充実

- ・個人情報漏洩阻止と重大なリスク予防の対策

行政との連携体制の充実

- ・介護予防事業、認知症予防事業、小児支援事業への対応の充実

2. 活動内容と評価

1) リハビリテーション室内のチーム体制整備と入院、外来、訪問、通所リハビリ業務の充実について

- ・業務量を調整する目的と教育の観点からチーム内のメンバー構成を見直した。チーム毎に書類管理や不在時のカンファレンス対応ができるよう日頃からチーム全体での患者把握をする取組みを行った。新人教育は各チームに一人～二人ずつ担当者を配置し、従来はプリセプターが行っていた新人教育をプリセプター中心にチーム全体で新人教育を行う体制とした。産休や育休者など職員構成の変化への対応が都度必要である。今後も病院機能に見合うリハビリテーション室の体制作りや変更を実施していく。

2) 施設基準の遵守と付加価値増加の対策

- ・地域包括ケア病棟で実施単位数を平均 2 単位以上となるよう、専従者を中心に毎日必要単位数を算出し、スケジュール調整することで目標値をクリアすることができ

た。収益性の向上という観点ではリハビリテーション総合計画評価料の算定率が9割以上となった。一方、退院時指導料の算定率は7割～8割であり算定忘れが多い月もあったため、退院時指導の算定忘れがないように取組んでいきたい。

3) 次期医療システムと部門システムのオペレーションの充実

- ・次期医療システムの変更に向け取組む対策チームを編成した。移行に向けて必要な作業の項目、問題を早期に話し合い、スケジュールを立てて計画通りに、データ移行や部門システムの再設定等を行うことができた。

4) 訪問リハビリ業務の整備と充実

- ・一般病棟入院患者、地域包括ケア病棟患者や外来患者などのリハビリ業務と兼務しながら訪問リハビリ業務も実施している。訪問リハビリスタッフの交替があったが、タブレット端末を効率よく利用することで、利用者の状態の変化や必要な情報の共有がしやすくなった。利用者がいきいきと充実した生活が送れるよう、多角的な視点でアプローチできるように職種間で情報共有ができる業務体制を今後も整備していく。

5) マニュアル・手順書の整備と充実

- ・既存のマニュアルの整理と見直しを行いマニュアルとの紐付けを行って完成に至ることができた。今後も手引書の見直しと業務の変更への対応を行っていく。

6) 個人情報漏洩防止と重大なリスク予防の対策

- ・通所業務や情報提供書、計画書等の書類を数多く取り扱うため個人情報漏洩防止策は常に見直しが必要である。行動規範ブックや手順書を使用して会議の際に読み合わせの実施を行っているが、書類の管理については今年度発生した事例をもとに対策の見直しを行った。来年度も引き続き個人情報の取り扱いに留意する。

7) 介護予防事業・認知症予防事業・小児支援事業への対応の充実

- ・地域主催の事業は当院のアピールにもなる事業と考え、地域行政等主催事業の依頼には可能な限り対応した。対応した件数は以下の通りである。

・介護予防事業（美浜町）

介護予防説明会「元気はつらつ65」	2件
認知症予防講座	1件
「65歳からの筋力アップ教室」体力測定	4件
介護予防教室	1件

・介護予防事業（南知多町）		
地域リハビリテーション活動支援事業	100歳体操	4件
ふれあいクラブ		6件
・地域ケア個別会議（美浜町）		5件
・地域ケア会議 生活支援協議体（南知多町）		2件
・美浜町専門職派遣事業		1件
・美浜町療育支援事業		
わかば園		12件
園児のケース会議		2件
・南知多町療育支援事業		
どんぐり園		1件
・個別支援会議（外来担当患者）		8件
・美浜町認知症初期集中支援		3件
・美浜町地域包括ケアシステム協議会 介護予防強化部会		2件
・南知多町地域包括ケアシステム協議会		2件

介護予防に関する事業と地域包括ケアシステムにおける行政・介護や療育の事業所との会議への参加が中心であった。院外業務を行う事で行政や事業所と顔の見える関係作りができ、また、当院の入院外来患者を「患者」としての視点ではなく「地域で生活する個人」として捉え、地域における生活環境を考える教育的機会にもなった。

院外業務にスタッフが出る事で、入院患者の対応が不十分にならないようチーム内・チーム間でフォローできる体制作りを行った。

院外業務に出向くスタッフの急な欠勤への対応が行えていないため、今後は院外業務内容をスタッフ間で共有し対応が行える体制作りが必要となる。

次年度も体制整備を継続していきたい。

3. 業務実績

リハビリテーション室 全期（令和5年度）…資料1

リハビリテーション室 通年

資料1

		理学療法	作業療法	言語聴覚療法	合計単位数 ※
実施合計 (単位数換算値)	医療 外来	4,057	4,355	704	9,116
	前年	4,230	4,088	492	8,810
	対前年比	12	13	18	103.5%
	医療 入院	40,027	26,537	5,341	71,905
	前年	41,480	22,254	4,912	68,646
	対前年比	12	15	14	104.7%
	摂食機能療法			115	172.5
	前年			69	103.5
	対前年比			166.7%	166.7%
	短時間通所リハビリ	610	89	38	2,211
	前年	577	65	81	2,169
	対前年比	105.7%	136.9%	46.9%	101.9%
	合計単位数 ※	45,914	31,159	6,159	83,232
前年	47,441	26,537	5,647	79,625	
対前年比	96.8%	117.4%	109.1%	104.5%	
職員1人あたり/日	15.8	14.3	14.7		

※「摂食機能療法」は1.5単位/件に、「短時間通所リハビリ」は3単位/件に置き換えています。

		新患者数	延べ患者数	総単位数	実施単位/患者
患者数 と 実施単位数	医療 外来	418	6,844	9,116	1.33
	前年	494	6,767	8,810	1.30
	対前年比	84.6%	101.1%	103.5%	102.3%
	医療 入院	1,473	44,557	71,917	1.61
	前年	1,434	39,584	68,646	1.73
	対前年比	102.7%	112.6%	104.8%	93.1%
	計	1,891	51,401	81,033	1.58
	前年	1,928	46,351	77,456	1.67
対前年比	98.1%	110.9%	104.6%	94.3%	

		理学療法	作業療法	言語聴覚療法	合計
医療 リハ料別	脳血管	8,900	10,322	3,504	22,726
	廃用	8,270	5,344	671	14,285
	運動器	19,520	11,393		30,913
	呼吸器	5,227	3,091	1,774	10,092
	がんリハ	1,910	412	104	2,426

		理学療法	作業療法	言語聴覚療法	合計
訪問リハ件数		949	418	10	1,377
前年実数		932	343	29	1,304

地域包括ケア病棟					
平均入院患者数		平均リハビリ対象者数		患者1名1日あたりの実施単位数	
2階	5階	2階	5階	2階	5階
26.6	48.6	17.0	36.1	2.07	2.07

■ 診療協同部－臨床工学室

1. 部署目標

- 1) 安全・安心して使用できる医療機器の整備
- 2) レポートおよび医療安全情報を活用した医療安全の向上
- 3) 増収および経費削減の検討・実施
- 4) 部門システム（物品管理システム）運用の構築

2. 活動内容と評価

1) 安全・安心して使用できる医療機器の整備

- ・臨床工学室が管理する医療機器の定期点検年間予定表を作成し、予定表に基づいて定期点検を実施した。
- ・臨床工学技士による医療機器点検実施件数（始業点検・定期点検）は、5097件（前年対比：129%）であった。
- ・医療機器点検実施件数（始業点検・定期点検）5097件の内、臨床工学技士が実施した定期点検（医療機器の部品交換や精度確認等の詳細な点検）については、人工呼吸器8台（前年度：8台）、麻酔器4台（前年度：3台）、除細動器7台（前年度：7台）、保育器（閉鎖式・搬送用）3台（前年度：2台）、電気メス14台（前年度：10台）、TCIシリンジポンプ2台（前年度：2台）、小型シリンジポンプ1台（前年度：1台）、輸液ポンプ50台（前年度：51台）、シリンジポンプ25台（前年度：25台）、低圧持続吸引器8台（前年度：8台）、経管経腸栄養ポンプ15台（前年度：15台）、MRI対応パルスオキシメータ1台（前年度：1台）、AED11台（前年度：12台）であった。
- ・メーカーに依頼した定期点検実施医療機器は、人工呼吸器3台（前年度：3台）、搬送用人工呼吸器2台（前年度：2台）、血液浄化装置1台（前年度：2台）、臨床用ポリグラフ1台（前年度：1台）であった。
- ・血液浄化療法の依頼を受けた際、迅速な対応が行えるように医療機器や医療材料の在庫を把握し迅速な対応を行った。実施した血液浄化療法業務は、CART（胸水・腹水濾過濃縮再静注療法）46回（前年対比：460%）であった。
- ・業務マニュアルや手順書の整備（作成・更新・確認）について、69個中30個のマニュアル・手順書の改正を行った。また、3個の手順書を新規に作成した。

2) レポートおよび医療安全情報を活用した医療安全の向上

- ・臨床工学室長会議や医療安全対策委員会でインシデントレポートの報告を受けた内容を部署内で共有を行った。また、他職種と情報共有が必要な事例については、医療安全対策委員会で臨床工学室より報告を行った。令和5年度は、4件の報告を医療安全対策委員会で行った。内訳として、臨床工学室長会議内共有インシデント事例2件、メーカー情報人工呼吸器リコール報告1件、医療安全情報への対応策報告1件を報告した。今後も、医療安全向上に必要な情報を収集し、関係委員会で情報発信を行い、

他職種と共有し、医療安全の向上を図りたいと思う。

3) 増収および経費削減の検討・実施

- ・ペースメーカー遠隔モニタリング加算件数増加に向け、ペースメーカー新規植込み・交換患者への遠隔モニタリング導入率を100%とする為、対象患者の導入説明を行った。対象患者6名に対して全員の遠隔モニタリング導入を行った。また、ペースメーカー遠隔モニタリング加算取得する為、毎月約50名の遠隔モニタリング確認を実施した。令和5年度遠隔モニタリング加算金額：1,309,600円（前年対比107.7%）であった。
- ・メーカーへ依頼している定期点検が臨床工学技士により実施可能か検討した。閉鎖式保育器（デュアルインキュビ）をメーカー定期点検から臨床工学技士への移行が可能であり、70,000円/台の費用削減が可能である。来年度、メーカー点検講習会を受講し定期点検移行を実施する。

4) 部門システム（物品管理システム）運用の構築

- ・臨床工学室管理医療機器の物流システムマスタへの登録やME機器（医療機器）への管理用バーコードシールの貼付といった準備について、予定通り進捗できた。一方で運用方法については、物流システム稼働後にしっかりとシミュレーションを行い、他職種が使用しやすい方法をしっかりと検討し令和6年度に周知と運用稼働を目指す事とした。

3. 業務実績

1) 臨床工学室 年度別業務件数 (令和元年度～令和05年度)

臨床工学室 年度別業務件数報告書

心臓カテーテル関連業務

業務分類	令和元年度	令和02年	令和03年	令和04年	令和05年
CAG	7	2	21	20	7
PCI	0	0	4	4	1

ペースメーカー関連業務

業務分類	令和元年度	令和02年	令和03年	令和04年	令和05年
ペースメーカーチェ	388	490	634	727	722
ペースメーカー新	5	4	7	6	2
ペースメーカー交	1	6	8	4	3
ペースメーカー体	1	1	9	6	7
ペースメーカー生活	7	10	13	11	5

血液浄化療法関連業務

業務分類	令和元年度	令和02年	令和03年	令和04年	令和05年
GCAP	2	0	15	5	0
エンドトキシン吸	0	4	2	5	0
CART(胸水・腹水濾	19	18	31	10	46
CHDF(日数)	0	2	0	0	0
HD・HF・HDF	0	0	0	0	0
PE(血漿交換)	0	0	0	1	0

手術協同関連業務

業務分類	令和元年度	令和02年	令和03年	令和04年	令和05年
経皮的ラジオ波焼灼	5	1	0	2	3
手術立ち会い	5	6	10	15	19
スコープオペレータ			4	11	11

人工呼吸器関連業務

業務分類	令和元年度	令和02年	令和03年	令和04年	令和05年
人工呼吸器使用中点検	1610	1280	654	386	245
人工呼吸器回路交換	64	77	53	34	9
バクテリアフィルター	669	219	103	64	34
カテーテルマウント	291	227	118	67	33
NIPPV対応	0	0	6	12	2
CPAP説明	9	11	20	46	42
新規導入(NPPV含	30	49	45	53	43

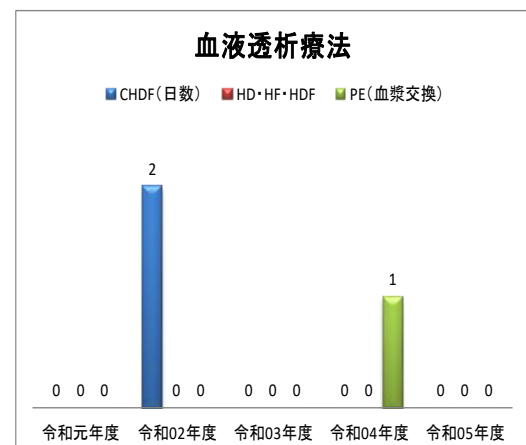
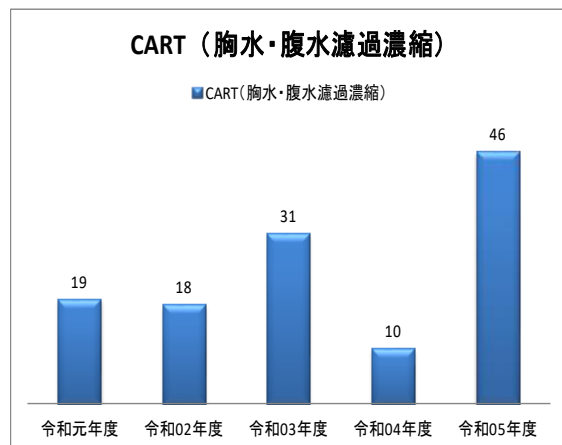
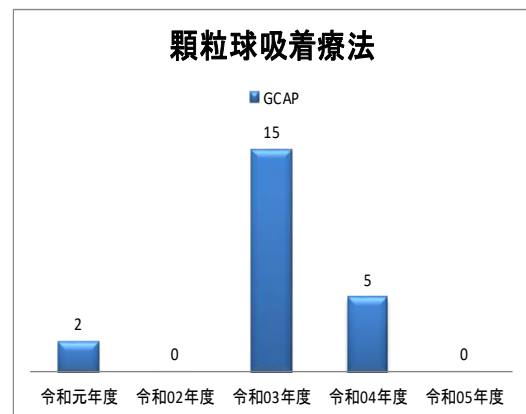
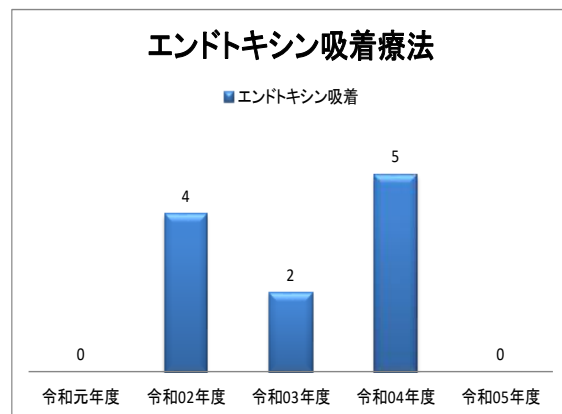
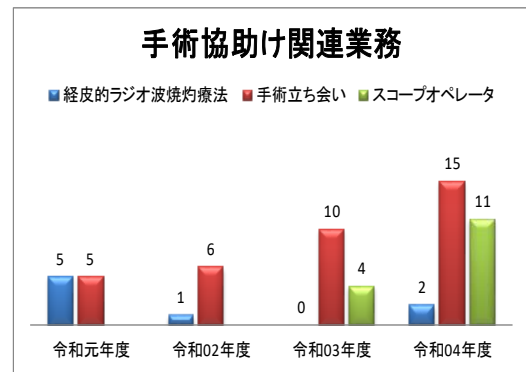
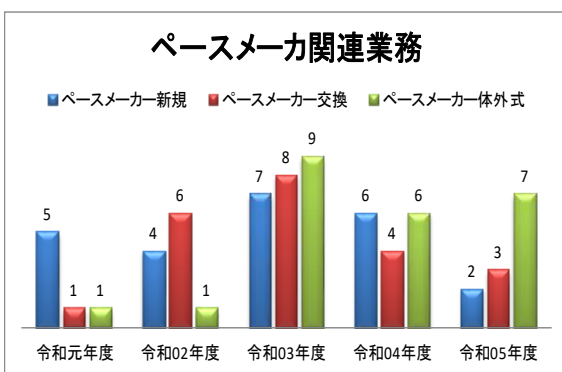
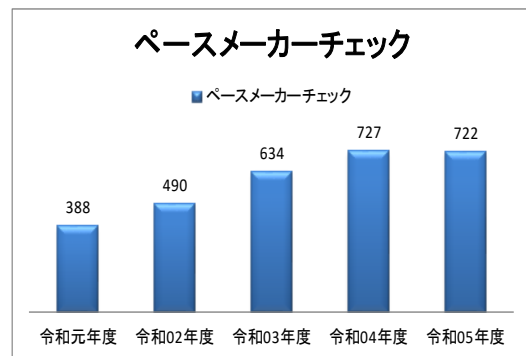
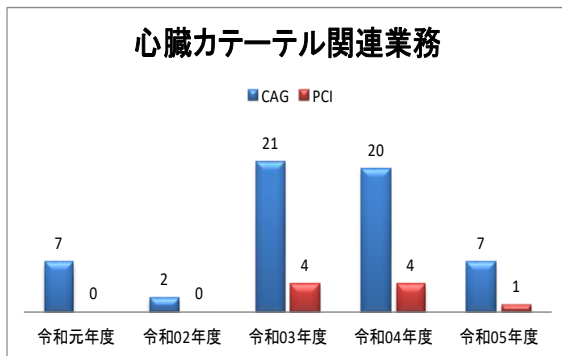
MEセンター関連業務

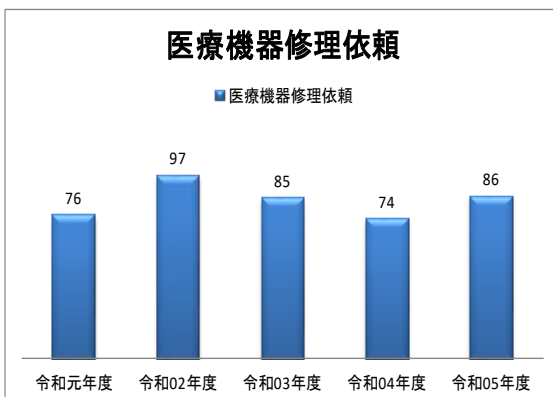
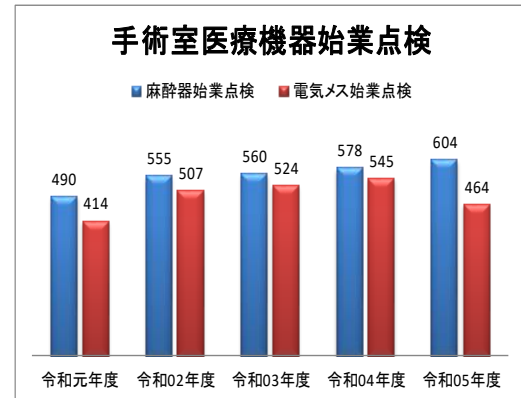
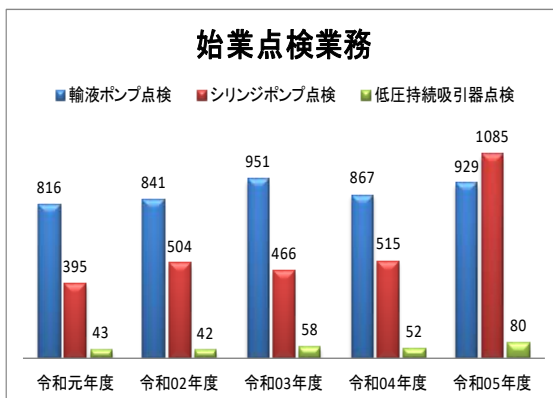
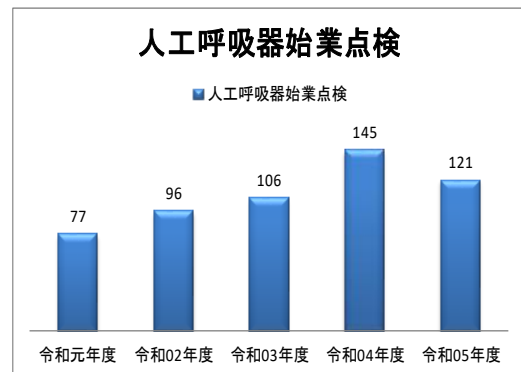
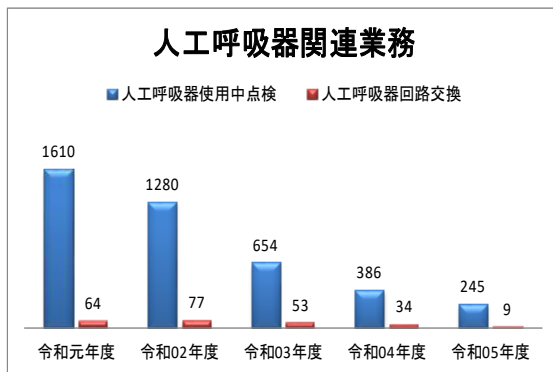
業務分類	令和元年度	令和02年	令和03年	令和04年	令和05年
麻酔器始業点検	490	555	560	578	604
電気メス始業点検	414	507	524	545	464
人工呼吸器始業点検	77	96	106	145	121
IABP点検	12	12	12	2	33
除細動器点検	83	85	89	89	88
閉鎖式保育器点検	30	40	35	36	36
AED点検	140	130	129	116	124
輸液ポンプ点検	816	841	951	867	929
シリンジポンプ点検	395	504	466	515	1085
低圧持続吸引器点検	43	42	58	52	80
医療機器修理依頼	76	97	85	74	86

緊急対応業務

業務分類	令和元年度	令和02年	令和03年	令和04年	令和05年
夜間・休日対応	2	15	14	13	8

2) 臨床工学室 年度別業務件数グラフ (令和元年度～令和05年度)





4. その他

1) 令和05年度院内勉強会実施について

院内勉強会実施一覧（令和05年度）

臨床工学室

【勉強会内容・日程・場所】

日程・場所	勉強会	内容	講師
令和05年05月01日 新人看護師研修	除細動器・AED 勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・AED・除細動器の操作手順について ・AED・除細動器の使用上の注意点について 	臨床工学技士 杉浦・藤田
令和05年05月02日 新人看護師研修	輸液ポンプ・シリンジポンプ勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・輸液ポンプ・シリンジポンプの使用方法 ・輸液ポンプ・シリンジポンプの操作手順 ・輸液ポンプ・シリンジポンプのアラームと対応 	臨床工学技士 杉浦・藤田
令和05年05月17日 新人看護師研修	人工呼吸器勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器の基礎について ・人工呼吸器の基本設定と換気モード ・人工呼吸器のアラーム対応について ・人工呼吸器管理について 	臨床工学技士 杉浦・藤田
令和05年06月16日 MEセンター	NPPV（V-60）勉強会 対象：臨床工学技士	<ul style="list-style-type: none"> ・V-60装置の概要 ・モード説明 ・各種設定方法について ・操作方法について 	柴田氏（フィリップス）
令和05年06月23日 MEセンター	血液浄化装置（TR-2020）勉強会 対象：臨床工学技士	<ul style="list-style-type: none"> ・概要について ・各種モードについて ・血液回路のセッティングについて ・操作方法について ・トラブル対応について 	波島氏（東レ）
令和05年08月24日 ME だより	人工呼吸器勉強会 対象：看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・加温加湿器運用へ変更した経緯 ・加温加湿器の準備が必要となります ・加温加湿器の作動を忘れた際、想定される問題 ・人工鼻仕様と加温加湿器仕様の違い ・加温加湿器準備手順書 	臨床工学技士 杉浦
令和05年11月06日 MEセンター	補助循環装置（IABP）勉強会 対象：臨床工学技士	<ul style="list-style-type: none"> ・操作方法について ・センサーバルーンの特徴について ・センサーバルーンの機器本体との接続方法 	羽田氏（ゲッティング）

令和06年03月19日 アンギオ室	麻酔器（ケアステーション 620S）勉強会 対象：放射線科看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・操作方法について ・始業点検方法について ・回路リーク発生時の対応方法について ・注意事項について 	臨床工学技士 杉浦
新しい医療機器導入時の研修			
日程・場所	勉強会	内容	講師
令和05年06月30日 手術室 第1ルーム	手術室内視鏡システム（エリートⅢ）勉強会 対象：手術室看護師・臨床工学技士	<ul style="list-style-type: none"> ・手術室内視鏡システム概要 ・気腹装置について ・セットアップについて ・ビデオシステムセンター操作方法について ・特殊機能について 	辰川氏（オリンパス）
令和05年09月07日 MEセンター	CPAP装置（スリープメイト11）勉強会 対象：臨床工学技士	<ul style="list-style-type: none"> ・概要 ・操作方法について ・スリープメイトS10との違いについて 	大杖氏（テイジン）

■ 診療協同部 — 栄養管理室

1. 令和5年度 部門目標

- ・医療の質の向上・・・チーム医療の強化、E S・C S活動の推進
- ・医療安全管理の充実・・・安全・安全な食事の提供
- ・住民との連携体制の充実・・・地域への情報発信
- ・経営の安定化に向けた対策・・・経費削減策の検討・実施
- ・働き方改革への対応・・・有給取得数増加に向けた業務見直し

2. 活動内容と評価

1) チーム医療の強化

入院患者の栄養状態を評価し、リスクのある患者を抽出することで、早期に栄養介入ができるよう努めた。患者ごとの栄養ニーズを考慮しつつ、適切な栄養摂取方法や栄養計画を提案し、栄養療法の目標が達成されるよう支援した。また、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、糖尿病ケアチームなどの活動にも積極的に関与し、適切な栄養管理が実施できるよう支援した。

2) E S・C S活動の推進

・E S活動の推進

厨房内の清掃や衛生管理を徹底し、調理スタッフが安心して働ける環境を整えた。定期的なミーティングを実施し、スタッフ同士の意見交換や情報共有を行う場を設け、チームワークを強化した。

・C S活動の推進

定期的な喫食・嗜好調査を実施し、食事に対する満足度や改善点などの意見を収集することで、献立やサービスの改善に役立てた。また、管理栄養士の病棟担当制により、患者一人ひとりのニーズや希望に応じた個人対応食を提供し、栄養バランスの取れたメニューを作成した。さらに、選択メニューの実施や、季節を感じられる旬の食材を取り入れた食事を提供した。

3) 安全・安心な食事の提供

厨房スタッフとの定期的なミーティングや衛生に関連する勉強会を実施し、衛生管理マニュアルや配膳マニュアルの周知を徹底した。また、手洗いや手指消毒の徹底、温度・加熱時間の記録漏れが発生しないよう、チェック体制を整え、食中毒の発生予防に努めた。

4) 地域への情報発信

全国厚生連栄養士協議会の取り組みとして、日々の入院生活に楽しみや安らぎを感じられるよう、隔月で各地の郷土料理を提供し、併せて郷土料理に関連するメッセージカードを作成・配布した。また、毎月食事や栄養に関するパンフレットを作成し、院内掲示および配布を行った。感染対策のため中止していた調理実習については、次年度からの再開に向けて、運用の見直しや実習内容の企画立案を開始した。



5) 経費削減策の検討・実施

食品価格高騰に対応し、食数管理の徹底や食品の使い込み防止対策を講じるとともに、定期的な残食調査や献立内容の見直しを実施し、フードロスの削減に努めた。各種洗剤や調理用品の使用量・使用状況を確認し、スタッフ間で情報を共有することで、消耗品の適正使用を促した。さらに、光熱費削減の意識向上を図るため、部署内にポスターを掲示し、厨房スタッフとのミーティングを定期的実施した。

6) 有給取得数増加に向けた業務見直し

厨房スタッフの高齢化や慢性的な人員不足に対応するため、要因計画の見直しが必要とされる中、超過勤務時間の発生状況を分析し、業務内容や業務分担の調整などの対策を講じた。さらに、企業説明会への参加や入職時の待遇の見直しなど、人員確保に向けた取り組みを継続した。また、業務負担軽減を目的とし、新調理システムの導入や冷凍野菜・調理済み食品の活用にも取り組んだ。

3. 業務実績

(1) 給食数

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	食数	前年対比	食数	前年対比	食数	前年対比
常食	31,305	86.4%	32,692	104.4%	35,734	109.3%
軟食	57,597	96.6%	54,492	94.6%	70,016	128.5%
流動食	503	155.2%	807	160.4%	811	100.5%
特別食A	44,990	91.9%	50,471	112.2%	43,493	86.2%
(特食比率)	29.4%	0%pt	32.9%	3.5%pt	26.7%	▲6.2%pt
特別食B	18,844	88.3%	14,818	78.6%	12,904	87.1%
合計	153,239	92.1%	153,280	100.0%	162,958	106.3%
賄食	43,563	97.1%	43,538	99.9%	47,179	108.4%
総合計	196,802	93.1%	196,818	100.0%	210,137	106.8%

(2) 栄養指導件・栄養管理件数

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	前年対比	件数	前年対比	件数	前年対比
入院栄養食事指導(初回)	176	84.2%	173	98.3%	128	74.0%
入院栄養食事指導(2回目以降)	40	90.9%	30	75.0%	22	73.3%
小計	216	85.4%	203	94.0%	150	73.9%
外来栄養食事指導(初回)	102	164.5%	150	147.1%	121	80.7%
外来栄養食事指導(2回目以降)	507	125.5%	833	164.3%	793	95.2%
小計	609	130.7%	983	161.4%	914	93.0%
糖尿病透析予防指導	319	63.3%	217	68.0%	237	109.2%
栄養指導合計	1144	93.5%	1403	122.6%	1301	92.7%
栄養情報提供加算	10	50.0%	7	70.0%	0	—
栄養サポートチーム加算	245	57.4%	229	93.5%	283	123.6%

4. 各種認定資格について

病態栄養専門管理栄養士	(日本病態栄養学会)
がん病態栄養専門管理栄養士	(日本栄養士会・日本病態栄養学会)
NST 専門療法士	(日本臨床栄養代謝学会)
臨床栄養代謝専門療法士	(日本臨床栄養代謝学会)
糖尿病療養指導士	(日本糖尿病療養指導士認定機構)

■ 薬剤部

1. 部門（部署）目標

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ① 診療体制の充実 | 入院患者への効率的な薬剤管理指導 |
| ② 医療の質の向上 | チーム医療の強化、CS活動の推進 |
| ③ 感染制御の充実 | ICTラウンド、ASTの継続実施 |
| ④ 地域連携体制の充実 | 入退院支援の強化・充実 |
| ⑤ 住民との連携体制の充実 | コロナ明けの市民公開講座の開催 |
| ⑥ 経営の安定化に向けた対策 | 費用削減策の検討・実施 |
| ⑦ 働き方改革への対応 | タスクシフト・タスクシェアの検討・実施 |
| ⑧ 医療情報システムの安定稼働 | 電子カルテ、部門システムの更新 |

2. 活動内容と評価

① 病棟における薬剤管理指導の充実を図る

算定可能な患者について、可能な限り実施していった結果、急性期病棟患者の実施率80%以上をクリアすることができた。来年度以降も重点的に取り組んでいきたい。

② 専門的ケアチーム活動への積極的な関与をする

NST、DST、DM、在宅、ACPの各チームへの参加と情報発信および情報共有により積極的に関与することが出来た。

外来患者サービスの向上としては、外来調剤の待ち時間短縮を図ることを目標に掲げたが、大きく改善することはできなかった。

③ ICTラウンドの継続実施およびASTによる抗菌剤適正使用への継続的な介入実施

ICTラウンドについては継続して実施することができた。

ASTによる抗菌剤適正使用への継続的な介入については、前年度を上回る算定をすることができた。

④ 入退院支援の強化・充実

退院のタイミングを病棟看護師と連絡を取り合い可能な限り実施・算定していくことで退院指導件数の増加を目指したが、前年度比で僅かにマイナスであった。今後も継続した取り組み強化が望まれる。

⑤ 糖尿病教室の開催

集合開催について、病院から許可されていなかったため、病院ホームページへ各部署からのコラム掲載という形で取り組んでいたが、年度途中より実開催で再開することができた。

- ⑥ 価格交渉による購入の効率化および経営的メリットのある後発医薬品への切り替え
 価格交渉に関する環境悪化により、昨年度より効率は若干下がったが、本部一括交渉を組み合わせた当院での粘り強い価格交渉により、全事業所の中でも上位で終えることができた。
 来年度においても厳しい姿勢で価格交渉をしていくことで、原価率を抑える取り組みが求められる。
- ⑦ 医療の質と安全性の向上を目的とした医師への処方支援
 処方提案件数、副作用防止件数の増加については、定期的に資材委員会で報告をすることができた。積極的に処方提案を実施し、適正な医薬品使用と副作用防止に介入していきたい。
- ⑧ 電子カルテ、部門システムおよび物品管理システムの更新
 電子カルテシステムおよび部門システムの更新をすることができた。
 他に物品管理システムを他社製へ入れ替えて運用を開始することができた。

3. 業務実績

令和5年度 業務実績(総計)

算定項目	令和5年度 算定件数	令和4年度 算定件数	増減
薬剤情報提供料	67,381	68,083	-702
薬剤管理指導料	4,829	4,609	220
麻薬管理指導加算	362	380	-18
退院時薬剤情報管理指導料	490	612	-122
無菌製剤処理料1	672	703	-31
無菌製剤処理料2	1,894	2,380	-486
薬剤相互評価調整加算	10	5	5
連携充実加算	172	169	3
外来腫瘍化学療法診療1	806	928	-122

4. 各種認定資格について (令和6年3月31日現在)

外来がん治療認定薬剤師	(日本臨床腫瘍薬学会)
緩和薬物療法認定薬剤師	(日本緩和医療薬学会)

NST 専門療養士	(日本静脈経腸栄養学会)
糖尿病療養指導士	(日本糖尿病療養指導士認定機構)
糖尿病薬物療法認定薬剤師	(日本くすりと糖尿病学会)
糖尿病薬物療法履修薬剤師	(日本くすりと糖尿病学会)
病院薬学認定薬剤師	(日本病院薬剤師会)
医療情報技師	(日本医療情報学会)
骨粗鬆症マネージャー	(日本骨粗鬆症学会)
リウマチ財団登録薬剤師	(日本リウマチ財団)
認定実務実習指導薬剤師	(日本薬剤師研修センター)
研修認定薬剤師	(日本薬剤師研修センター)
日本 DMAT 隊員	(厚生労働省)

■ 看護部

1. 部門目標

- 1) 看護実践能力の向上に努め、安心安全な質の高い看護を提供する
- 2) 働き方改革の推進
- 3) 病院経営への積極的な参画

2. 活動内容と評価（昨年度）

1) 看護実践能力の向上に努め、安心安全な質の高い看護を提供する

(1) 対象のニーズを捉えた確かな看護の実践

①患者の意思決定を支援する 委員会活動の活性化 【概ね達成】

- ・退院支援カンファレンス 1376 件（745 件）緩和ケア関わり 36 名（34 名）DST 直接 CN 介入 53 名（42 名）NST 介入 425 名（419 名）ACP 介入 22 件（1 件）クラスター発生時以外は看護部委員会の実開催ができた。病棟のクラスター発生時は患者家族にはオンラインで随時、面会してもらったがコミュニケーションは十分とは言えず医療者側と一般社会との感染に対する理解認識の違いを感じるが多々あった。看護は医療接遇を理解し電話対応する必要があった。

②認定看護認定看護師の活動推進 【概ね達成】

- ・コロナ 5 類となり CN 主催学習会を計画。コロナ入院患者の状況により一部期日変更をしながら計画どおり実施することができた。
- ・DST の活動は改善が必要だが体制はできている。認知症ケア加算 1 算定：対象患者 776 名（604 名）のべ患者 12,692 名（9,602 名）収益としては 7,407,800 円（5,287,040 円）せん妄ハイリスク加算率 63.9%（27%）収益 1,441,000 円（629,000 円）と増加。収益には結びついているが、活動内容は十分に現場実践に結びつき機能しているわけではない。身体拘束 33.9%（40.5%）認知症看護の質向上は次年度に続く課題である。認知症看護認定看護師の活動単位は維持。

③コロナ感染対応の質向上 【概ね達成】

- ・各病棟で繰り返しクラスター発生があり、職員が続けて陽性となる部署も発生した。看護部課長会、朝会でベッドコントロール、人的支援の確認、特に高齢者の食事介助の支援は外来や OPE 室勤務者に協力を得た。結果は収益に影響する入院制限や救急車受け入れ制限をすることはなかった。

(2) 教育・研修機能の充実

①新人ローテーション研修による双方（新人看護師と受け入れ部署）の成長 【達成】

- 2 年目のローテーション研修は計画どおり実施。急性期 2 病棟は新人支援体制に夜勤開始

時に 4 人夜勤としたこともあり順調に開始できた。ローテーション研修の評価は昨年同様に良いという意見で、他部門の職員との関わり、同期とのつながり、目指したい看護が明確になったなどの意見がある。新人看護師ガイドラインに沿った看護技術チェックについても経験できた項目は高かった。受け入れ部署は臨地指導者や教育指導者以外のスタッフが新人に関わることでコミュニケーションを深める機会となっていた。ローテーションの実施期間について一部署 7 日間は長いとの意見があり、次年度の課題として検討する。

②救急患者受け入れに対する看護の質向上 【概ね達成】

・救急搬送 1722 件 (1815 件) 救急患者数 5971 名のうち夜間休日が 5329 名。緊急入院 70% : 予定入院 30% 救急患者の病棟直入院 45.8% (40.3%)。病棟の看護係長リーダ看護師が外来救急を日替わりで担当することは、患者の入院時記録、手続きなど継続して関わる業務の効率化と救急医療の意識向上になった。救急診療委員会の下部組織、BLS 部会の研修以外に院内で ACLS 研修を 1 回実施した。これまで救急外来が未経験者や中堅看護師が研修医と共に参加し学びのある研修となっていた。

救急不応需の件数内容は看護課長の朝会で共有。看護師が救急受入のファーストタッチとなるため、連絡対応に問題はないか日々検討している。

(3) 医療接遇マナーの向上 【達成】

①接遇マナーについて CS 委員を通し各部門に発信があり、接遇に関する標語を作り年間通じてポスター掲示した。接遇に関するクレームの問題事項は課長朝会で共有し、スタッフ指導に活かすようにした。個人指導 (患者からのクレームを繰り返す個人) については部署管理者の指導が基本で必要時、看護管理室が面接、指導に関わるようにした。職場満足度調査 2 年目で接遇に関する項目は、身だしなみ 69.0 (66.7)、言葉遣い態度 54.4 (53.8)、信頼・知識技術 49.1 (42.6) わかりやすい説明 54.4 (50.0)、質問相談しやすさ 50.3 (48.1) 全体に前年度より全て少し高かった。各自が接遇意識を高める努力が必要である。

2) 働き方改革の推進

(1) 離職防止と定着 新人看護師のタイムリーな面接の実施 【一部達成】

①新人看護師は目標面接以外にチーム編成時、夜勤見習い時、夜勤ひとり立ち時など年間の面接と以外に随時面接を実施している。新人 17 名採用うち 1 名退職者が発生したが 16 名は全員夜勤開始ができています。人間関係によるメンタル不調が発生した場合は看護管理室が課長の支援者となり面接対応を共に行うようにした。発生する問題を曖昧にしないこととスタッフへの明確な支援、適切なタイミングで面談を実施することは

重要であった。全体の退職者 20 名で離職率は 12.7% (10.0%) であった。結婚による転居が最も多い理由である。

②夜勤協定違反者の減少 遵守に向けた要員確保 【一部未達】

- ・年間の夜勤協定違反は 95 名 (186 名) で減少している。
- ・看護師採用説明会は看護課長全員が年間通して当番制とすることで病院説明に関わることは組織の現状を理解する機会となっている。求人サイト、インディード、ハローワーク、派遣業者、職員紹介制度は継続している。R6. 4. 1 正職員 160 名 (159 名)。常時、産休育休・介護休職、病欠者は 1 割弱あるため、夜勤可能な看護要員の確保が必要である。

③職員満足度調査による要因分析共有 【一部未達】

業者調査 2 年目、看護部総合満足度 34.9 (36.5)、看護部方針や目標の理解 40.9 (47.7) 職員意見からの業務の見直し 27.5 (29.5) 上司からの適切な指導監督 44.2 (46.5) WLB28.7 (29.7)、給料の満足度 41.9 (43.6) が昨年より低下した項目である。次年度に向け看護部運営会議に共有した。

(2) 課題の明確化と業務改善

①病棟時間外の削減 病棟外来一元化の継続 新人看護師支援体制の強化 【一部達成】

- ・病棟日勤帯時間外：一人当りの月平均時間外=2.25 時間 (3.48 時間)
病棟外来一元化による業務体制は継続。
- ・緊急入院が多い 3F の夜間 3 人体制は、新人にとって精神的負担があり、夜勤の不安、疲労が高かった。これは新人を支援する先輩看護師も同様である。新規入院患者 3052 名のうち 3F 入院 1217 名、急性期入院数 774 名のうち約 500 名は 3F で受け入れており稼働率 91.2% と高い。夜間も緊急入院を安全に受け入れる対策として、10 月より夜間外来救急と兼務する 4 人夜勤体制を計画した。開始にあたり他部署から夜勤応援を受けることで何とか実施でき新人は順調に夜勤を開始することができた。次年度は他部署から応援体制でなく整えたい。

②看護補助者の役割拡大 要員確保と指導教育 【一部未達】

看護補助者は業者紹介・派遣を含め 24 名採用し 7 名退職、正職補助者 8 名のうち夜勤者可能人員は 3 名である。看護補助者に必要な研修は看護係長が中心となり指導することで急性期 2 病棟補助加算は申請できた。看護補助者の退職理由は、想像上に現場が重労働であること、患者の排泄ケアに抵抗があるなどであった。看護補助者の安定配置に向け採用活動を継続する。

3) 病院経営への積極的な参画

(1) 効率的な病床運用の実施

①施設基準の維持 【達成】

急性期入院基本料1（急性期夜間看護配置加算16:1）地域包括ケア病棟入院料1は維持。感染を除く病床利用率92.7%（91.5%）今後も病床利用の安定稼働が重要で救急患者の受け入れと紹介患者のスムーズな対応に努める。コロナクラスター発生による病棟人員不足は手術室や外来スタッフが病棟夜勤者となることで、協力による応援勤務で看護要員不足を乗り越えることができた。

(2) 5S活動の推進

②看護ケア用品・物品管理適材適所・有効活用 【達成】

感染病床を閉鎖して一般病棟をゾーニングしながらコロナ陽性者を多数受け入れた。病棟クラスター発生時は、必要物品を病棟間で連絡調整し協力することで費用削減有効活用した。各部署の不要品については看護課長の朝会で随時発信した。電子カルテ更新、物流システム導入に伴い手術室の複雑な物品の選択整理ができ業務の効率化が図れると考える。

4. 令和5年度看護部研修

(1) 新人看護師研修

月	日	曜日	時間	内容	講師	参加者人数	
						看護部	他部門
4	3	月		厚生連新採用者入職オリエンテーション	厚生連本部	15	
	4~5	火水	8:30~17:00	病院オリエンテーション	教育研修委員会	15	
	6	木	8:30~17:00	看護部オリエンテーション	看護管理室	17	
	7	金	8:30~10:30	医療安全対策	看護部	17	4
			10:30~12:30	褥瘡対策・スキンケア	看護部	17	4
13:30~15:30			標準予防策・清潔操作・針刺し防止	看護部	17	4	
15:30~17:00			振り返り リフレッシュ	看護部	17		
5	1	木	8:30~10:30	高齢者のフィジカルアセスメント・認知症患者のケア	看護部	17	4
			10:30~12:00	経口薬・外用薬・直腸内与薬(処方箋・注射箋)	看護部	17	
			13:00~14:30	心電図モニター・12誘導装着	ME・看護部	17	5
			14:30~16:00	AED・DC	ME・看護部	17	5
			16:00~17:00	振り返り	看護部	17	
	2	火	10:30~16:00	静脈血採血・静脈点滴注射・ポンプシリンジポンプ	看護部	17	4
			16:00~17:00	振り返り	看護部	17	
	17	水	10:00~12:00	経管栄養を受ける患者の看護	看護部	17	1
			13:00~14:00	急変時対応・救急カート	看護部	17	1
			14:00~15:30	人工呼吸器取り扱い・BVM	ME	17	1
			15:30~17:00	振り返り リフレッシュ	看護部	17	
	30	火	8:30~11:30	標準予防策・清潔操作・針刺し防止	看護部	17	1
			12:30~15:30	血管確保	看護部	17	
			15:30~17:00	振り返り リフレッシュ	看護部	17	

6	9	金	15:30～ 17:00	振り返り リフレッシュ	看護部	16		
	21	水	8:30～ 9:30	導尿・膀胱留置カテーテル	看護部	16	4	
			9:30～ 11:00	食事介助	看護部	16	5	
			11:00～ 12:30	吸引・マウスケア	看護部	16	5	
			13:30～ 15:30	事例検討Q&A	看護部	16		
			15:30～ 17:00	振り返り リフレッシュ	看護部	16		
	22	木	8:30～ 9:00	配属部署発表	看護部	16		
			14:30～ 15:30	決意表明	看護部	16		
			15:30～ 17:00	部署オリエンテーション	部署長	16		
	8	18	金	14:00～ 16:00	安全安楽のケア・逝去時のケア	看護部	16	
16:00～ 17:00				リフレッシュ	看護部	16		
9	28	木	15:00～ 17:00	皮下・筋肉注射実践指導	看護部	17		
10	19	木	16:00～ 17:00	リフレッシュ	看護部	17		
2	15	木	15:00～ 16:30	事例を通して看護を振り返る(発表)	看護部	15		
			16:30～ 17:00	振り返り	看護部	15		
						合計	593	48

(2) ラダーレベル I 研修

月	日	曜日	時間	研修名	講師	研修参加者	
5	2	火	8:30～ 10:30	意思決定支援	看護部	17	
5	17	水	8:30～ 10:00	看護記録	看護部	17	
6	9	金	8:30～ 15:30	薬剤の取り扱い	看護部	17	
6	22	木	9:00～ 11:30	日常看護提供場面で理解する看護の倫理綱領と看護業務基準(オ)	看護部	17	
			12:30 ～14: 30				
7	13	木	15:00 ～ 17:00	看護課程	看護部	18	
9	12	火	13:00～ 15:00	メンバーシップ	看護部	13	
10	19	木	14:00～ 16:00	地域における自施設の役割	看護部	16	
						合計	132

(3) ラダーレベルⅡ研修

月	日	曜日	時間	研修名	講師	研修参加者	
7	5	水	15:00～ 17:00	看護研究とは	外部講師	2	
9	20	水	13:00～ 15:00	リーダーシップ	看護部	2	
			13:00～ 17:00	人材育成	看護部	2	
11	22	水	10:00～ 12:00	医療安全対策	看護部	2	
			13:00～ 15:00	感染対策	看護部	2	
			15:00～ 17:00	標準的な看護計画に基づくフィジカルアセスメント(オ)	看護部	2	
12	15	金	14:00～ 15:30	地域包括ケアシステムを形成する施設・職種・制度(オ)	看護部	2	
			15:30～ 17:00	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスとその理解(オ)	看護部	2	
1	19	金	15:00～ 16:00	薬剤の取り扱い	医療安全	2	
						合計	18

(4) ラダーレベルⅢ研修

月	日	曜日	時間	研修名	講師	研修参加者	
6	22	木	14:00～ 17:00	コーチング	看護部	4	
			13:00～ 15:00	急変の予測と救命救急場面の対応(オ)	看護部	5	
7	6	木	15:00～ 17:00	看取りにおける尊厳の尊重と苦痛の緩和(オ)	看護部	5	
			15:00～ 17:00	看護研究方法/量的研究を始めてみませんか	外部講師	1	
9	6	水	13:00～ 15:00	自施設周辺の地域包括ケアシステムの理解(オ)	看護部	4	
			15:00～ 17:00	ケアの受け手の意思決定における権利擁護(オ)	看護部	4	
			13:00～ 15:00	ケアの受け手の状況に応じたフィジカルアセスメント(オ)	看護部	2	
10	6	金	15:00～ 17:00	ケアの受け手の全体像把握のためのアセスメント統合(オ)	看護部	2	
			15:00～ 17:00	ケアの改善のためのエビデンスの活用(オ)	看護部	2	
12	20	金	15:00～ 17:00	協働におけるコンサルテーションと多職種カンファレンス(オ)	看護部	2	
1	31	木	13:00～ 15:00	急変の予測と救命救急場面の対応(オ)	看護部	2	
			15:00～ 17:00	看取りにおける尊厳の尊重と苦痛の緩和(オ)	看護部	3	
2	2	金	15:00～ 16:00	医療安全取り組み報告	医療安全	3	
						合計	39

(5) ラダーレベルIV研修

月	日	曜日	時間	研修名	講師	研修参加者
6	14	水	13:10～ 14:40	ケアの受け手の自己決定を支える多職種の協働・連携(オ)	看護部	1
10	18	水	13:00～ 17:00	クリティーク	厚生連	1
合計						2

(6) 他研修

月	日	曜日	時間	研修名	講師	研修参加者
7	13	木	16:15～ 17:00	重症度、医療看護必要度	委員会	26
9	15	金	16:15～ 17:00			13
7	27	木	16:00～ 17:00	クリパス学習会	委員会	16
8	5	土	9:00～ 11:45	院内看護研究発表	外部講師	50
2	15	木	16:30～ 17:30	固定チーム活動報告	看護部	20
3	4	月	16:00～ 16:30	院内臨地指導者研修	委員会	8
合計						133

■ 医療安全管理部

1. 部門目標

- ・多職種と連携し、医療安全対策の実施と評価を行う
- ・医療安全報告の推進・共有・分析を行う
- ・医療安全教育を実施し職員の安全意識の向上を図る
- ・地域の医療機関との連携を継続する

2. 活動内容と評価

1) 多職種と連携し、医療安全対策の実施と評価を行う

(1) 事例検討について

事例検討会開催件数

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4	3	4	4	3	3	4	5	3	3	2	2	3	39
R5	3	4	5	4	4	4	4	3	2	4	2	3	42

- ・医療安全対策委員で構成した担当者が、事前に事例検討を行った後、医療安全対策委員会で改善策を再検討した。令和5年度は、42件で前年度より3件増加した。

(2) 医療安全ラウンドについて

- ・医療安全対策委員担当者巡視による医療安全対策実施後の評価、潜在リスクの把握を1回/月行った。その結果と対策を医療安全対策委員会で共有し、各部署に周知した。部署の改善結果を医療安全対策委員会で情報共有した。

2) 医療安全報告の推進・共有・分析を行う

(1) 医療安全報告書について

医療安全報告件数

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4	54	62	48	55	62	53	48	44	46	57	39	39	607
R5	65	62	77	49	76	64	62	63	81	53	41	52	745

- ・令和5年度医療安全報告件数は745件であり前年度と比較し138件増加した。
- ・令和6年3月までに医療安全報告システムを変更し報告しやすい環境づくりとした。

(2) 医療安全カンファレンスについて

- ・医療安全カンファレンス開催件数は、95件/年で前年度より8件増加した。
- ・評価カンファレンス開催件数は、86件/年で前年度より14件増加した。
- ・医療安全管理部門を含むカンファレンス開催件数は、109件/年で各部門の医療安全対策委員活動が推進されたことにより前年度より8件減少した。

3) 医療安全教育と職員の安全意識の向上を図る

(1) 医療安全研修について

①前期医療安全全体研修

- ・日 時：令和5年9月30日（水）～10月14日（木）
- ・内 容：「ヒューマンエラーの対応」講義
- ・受講者：426名

②後期医療安全全体研修

- ・日 時：令和6年2月5日（月）～2月16日（金）
- ・内 容：事例に学ぶ医療安全（院内で報告された1事例から 病棟による麻薬管理）
医薬品安全使用講習・診療用放射線の安全使用講習
- ・受講者：414名

(2) 医療安全推進月間

- ・目的：危険予知能力の向上を目指す
- ・実施：令和5年11月～12月全部署ポスター掲示
活動状況についてラウンドを行い、医療安全対策委員会で周知

4) 地域の医療機関との連携を継続する

(1) 医療安全地域連携加算に伴う連携病院相互評価の実施について

①医療安全対策加算Ⅰ病院

令和5年11月16日（木）、令和5年12月12日（火）に開催

②医療安全対策加算Ⅱ病院

令和5年9月15日（金）に開催

3. 業務実績

- ・医療安全対策加算Ⅰ取得
- ・医療安全地域連携加算取得

4. その他

1) 重大事故（医療事故調査制度報告事例）について

- ・医療事故調査制度の対象事例は0件であった。

■ 感染制御部

1. 部門（部署）目標

- 1) 感染症指定医療機関としての患者受入れ体制の充実
- 2) 感染対策にかかわる職員教育の実施

2. 活動内容と評価

1) 感染症指定医療機関としての患者受入れ体制の充実について

- ・ 新型インフルエンザ等感染症として扱われていた新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日に5類感染症に移行したことで、4年間にわたる感染症指定医療機関としての役割が一旦終了した。今回の経験を基に、今後発生すると考えられている新興・再興感染症に備えるために、国内外の感染症の発生動向を監視しながら、備蓄品やハード面を整備することが今後の課題である。併せて、患者が外来を受診する際の導線や入院での隔離体制、ベットコントロールなどを検証しながら、新興・再興感染症発生時に備えたいと考えている。

2) 感染対策にかかわる職員教育の実施について

- ・ 手指消毒の使用量を向上させる目的で、全職員に向けて「当院での手指衛生向上のための取り組み」をテーマとした研修会を2回行った。研修会の翌月には手指消毒の使用量が増加する効果が得られたが、増加を維持することは難しかった。年々手指消毒の使用量は増加傾向ではあるので、今後も継続して啓発をしていくことを考えている。

3. 業務実績

1) 知多半島医療圏感染対策連携会議への参加実績

開催日	参加施設	議題
令和5年6月21日	知多厚生病院 公立西知多総合病院	AUD調査報告
令和5年9月20日	半田市立半田病院 常滑市民病院	乾性手指消毒剤払い出し状況
令和5年11月15日	石川病院 知多小嶋記念病院	耐性菌検出状況
令和6年 2月21日	杉石病院 みどりの風南知多病院 渡辺病院 共和病院 一ノ草病院 国立長寿医療研究センター あいち小児保健医療総合センター 半田保健所長 知多保健所長 知多郡医師会 半田市医師会 東海市医師会	職種別カンファレンス

2) 相互ラウンド実績

開催日	施設名	内容
令和5年10月2日	半田市立半田病院が来院	院内ラウンド感染防止対策地域連携加算チェック項目表に沿ってラウンド
令和5年9月13日	半田市立半田病院を訪問	

3) 連携カンファレンス実績

開催日	施設名	内容
令和5年7月31日	浜田・整形外科内科クリニック	発熱外来の導線確認 アウトブレイク発生時の連携 について
令和5年7月27日	内科・外科渡辺医院	
令和5年7月12日	すこやかクリニック	
令和5年7月20日	なかしまキッズクリニック	

4) 教育・啓発活動実績

日時	対象	内容
令和5年4月4日	入職者	感染対策について
令和5年4月7日	看護師教育ラダー I	感染対策研修
令和5年7月24日～8月10日	全職員	手指消毒向上への取り組み (動画視聴)
令和6年3月4日～3月14日	全職員	手指消毒向上への取り組み (動画視聴)

4. その他

1) サーベイランス・ラウンドについて

- ・ J-SIPHE に参画
- ・ JANIS の SSI、細菌検査部門に参画
- ・ 手指消毒薬使用量サーベイランスの実施
- ・ 中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランスの実施
- ・ 環境ラウンドと手指消毒直接観察ラウンドの実施

■ 事務部

1. 部門目標

- | | |
|--------------|--------------------------------------|
| 救急医療の充実 | － 近隣地域を含めた消防との連携強化 |
| 経営の安定化に向けた対策 | － 付加価値増加策の検討/病床利用率の向上
費用削減策の検討・実施 |
| 行政との連携体制の充実 | － 地元行政およびJAとの連携強化、補助金の継続的交渉 |
| 住民との連携体制の充実 | － 広報誌、ホームページを通じて情報発信
住民公開講座の開催 |
| 働き方改革への対応 | － 有休取得日数の基準達成および時間外勤務削減に向けた業務見直し |

2. 企画課

(1) 活動内容と評価

- 1) アフターコロナへの対応・患者および収入確保
 - ・新型コロナウイルスの影響により減少した入院患者数の確保については病床管理委員会での患者確保提案、運用改善提案などに取り組み、入院収入の回復努めた。
 - ・新型コロナウイルスのワクチン接種については地元行政と協力して住民接種を行った。
- 2) 新たな支援（補助金）の獲得への対応
 - ・新型コロナウイルス関連の補助金については施設課および本部と連携しながら対応し、設備補助金・運営費補助金を申請し受給した。
- 3) 広報活動の充実
 - ・リニューアルした病院ホームページにおいては、従来からの休診情報に加え、新型コロナウイルスの感染予防対策や連休中における発熱外来の臨時診察の告知など、タイムリーな情報発信に努めたことでホームページへのアクセス件数が増加した。
- 4) 部署間連携強化の取り組み
 - ・新型コロナウイルスの感染拡大のためイベント参加を控えていたが、4年振りにJAあいち知多美浜事業部、武豊事業部（平成26年度より）と連携した両町の産業まつりへ参画し、JA組合員および地域住民への健康増進に取り組んだ。
 - ・毎年医師が住民向けに講演を行ってきたが、新型コロナウイルスの感染拡大の懸念により開催を中止した。
- 5) 次年度事業計画の作成
 - ・例年夏場に各診療科、部門とヒアリングを行い次年度の各部門の方針や目標など情報収集するとともに、各部門の適正な人員配置等についての考えを確認した。

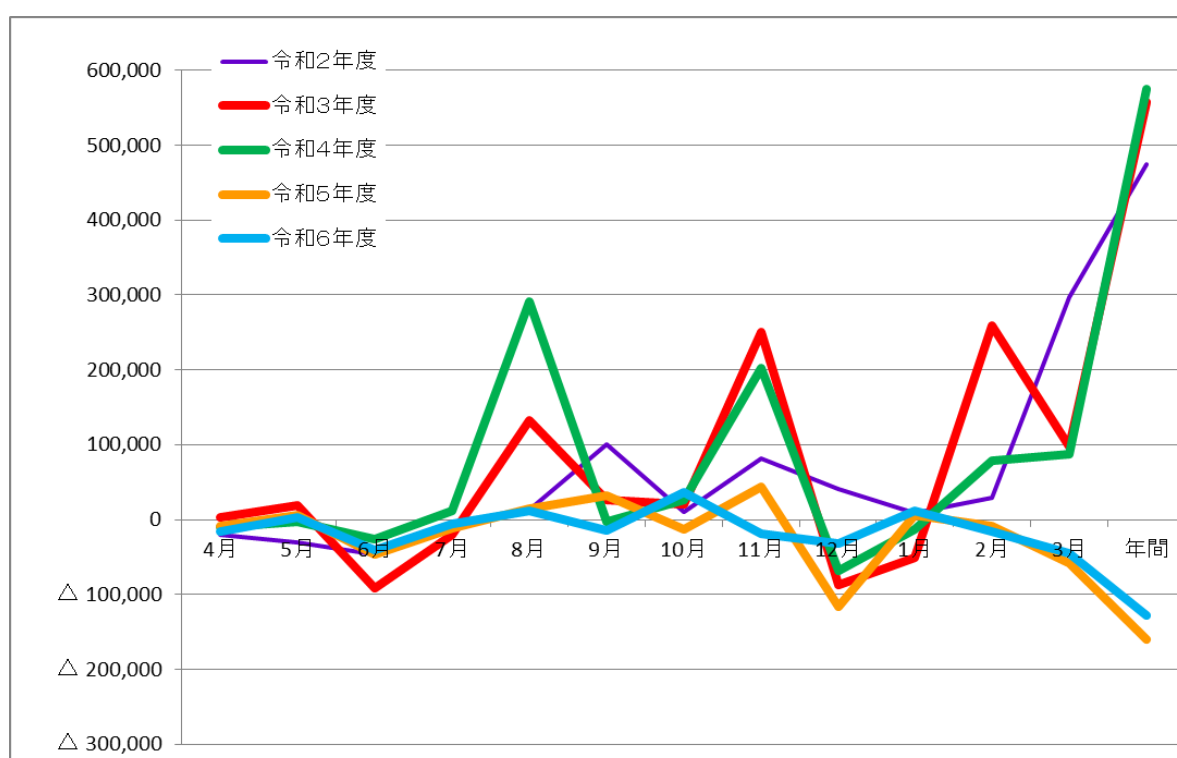
6) 経営管理（収支分析と報告）

- ・毎月、収入・費用を前年対比、予算対比で増減分析を実施し、事務役付者会議や管理者会議、運営会議にて収支報告を行い、収入や費用に対する意識統一を図った。
- ・病床再編により収支改善が図られ、改善状況を継続するためにもわかりやすい資料を提示して職員周知を行った。

(2) 実績報告

1) 目標回収額の状況について

(千円)



■ 事務部

3. 医事課

活動内容と評価

1) アフターコロナへの対応

- ・令和5年5月8日より新型コロナが5類感染症へ移行され、外来受診方法の変更や診療報酬のコロナ特例措置の打ち切りなどの変化が求められる一年となった。他部署と協力し、発熱患者の受診方法や導線の検討を進め、発熱外来の廃止・通常診療の一部へ移行する運用調整を行った。診療報酬請求に関しても特例措置が徐々に縮小化される中、算定可能なものを慎重に模索、検討して適切な請求に心掛けた結果、新型コロナウイルス特例加算における8,700万円程の収入増加に繋がった。また、今年度も美浜町、南知多町の要請を受け新型コロナワクチン接種を実施。その運用構築と実行に参画した。

来年度は新型コロナ関連公費も全面的に終了し、アフターコロナへ本格的に移行していく。本来の医療提供体制再構築のため、医事課の枠を超えた全病院的対応に尽力していく。

2) 病床稼働の管理

- ・安定的な収入確保のため、病床稼働を高水準で維持する必要がある、病床運営管理委員会にて病床稼働の改善案や分析を行った。具体例としては、閑散期に向けた予定入院患者の確保策の提案や新型コロナ前後のDPCデータを用いた疾患構造分析をし、多職種にて協議した。また、病床稼働の管理に密接に関与している医療・看護必要度の基準維持に向けた対策も協議しており、適切な病床運営に寄与することができた。救急患者増加策として、昨年度から取組みを継続している常滑地域への救急搬送エリアの拡大を企図した常滑消防への訪問を実施した。

今後も、関係各所と連携しながら、入院患者確保に向けた取組みを進めていきたい。

3) 増収対策

- ・経営改善・業務調整委員会にて各部署と共同して増収策・経営改善策の企画・立案を行った。中でも患者確保策として内科二次健診の予約枠を整備し、健診から二次健診への運用導線をスムーズ化した。外来患者のみならず、入院患者増加も見据えた提案となった。また、病棟管理検討会にて、退院や地域包括ケア病棟への転棟時期が検討されるが、医事課病棟担当者も参加し、DPC期間や算定可能な入院料、出来高項目を考慮した資料を提供し、ベッドコントロールの判断に収入的視点を組み入れるように努めている。

来年度以降も経営改善・業務調整委員会等を利用して、病院全体でのコスト意識への醸成に繋がる提案をしていきたい。

■ 事務部

4.総務課

活動内容と評価

1) 保育所・売店・理髪その他付帯施設の運営に関すること

- ・保育所は12月末現在で9名の児童を預かっております。保育士は5名在籍（うち1名は再雇用パート）しています。看護部の協力もあり、保育士の夜勤は月4回程度と現状問題なく運営することができております。
- ・喫茶店・売店については、株式会社光洋に委託しています。しかし利用者数の減少から今後の運営について課題となっており、令和6年7月の契約更新に向けて新規業者も視野に入れて検討しております。

2) 監査・検査に関すること

下記5件の監査・検査等に対応しました。

- ・内部監査Ⅰ（令和5年7月24日）
- ・上半期末定期監査（令和5年9月6日）
- ・保健所立入検査（令和5年10月31日）
- ・内部監査Ⅱ（令和5年11月30日）
- ・随時監査（令和5年12月1日）

3) 職員の採用に関すること

- ・初期研修医については、当院初のマッチング順位付けを行えましたが、マッチング割れとなってしまいました。二次募集では、初日から申し込みが相次ぎまして、無事に定員2名を確保することが出来ました。
- ・現段階で採用計画と比較して未補充職種としては、薬剤師1名・看護助手1名となっておりますが、採用計画にない医師や看護師の不足、また労働力の頭数としては満たしておりますが、高齢化が進んでいる看護助手や調理員の世代交代などの課題があります。現在進行形の対応方法といたしましては、派遣業者や紹介業者に頼らざるを得ず、苦しい状態が続いております。

4) 職員の給与及び旅費の支払いに関すること

- ・新たな年末調整方法としての「SmartHR」導入初年度として、全職員に対して適切に周知を行いました。結果滞りなく進めることが出来ました。

5) 職員の健康保険・労働保険・厚生年金・福利厚生及び健康管理に関すること

- ・令和5年6月19日から7日間かけて職員健診を行い、全職員100%受診を達成いたしました。またインフルエンザ予防接種を11月末から3日間行い、医療従事者としての自覚を促した結果、おおよそ8割の職員が接種いたしました。

6) 職員の被服貸与に関すること

- ・課題として捉えている①各職種でバラバラの更新となっている②医療技術職としての統

一感がないという現状を鑑み、ある程度のまとまり感を持たせる対策として、更新日が近いユニフォームは更新を延期して、同じ時期の更新としました。また将来構想として、注文数の優位により低い金額設定が可能となるのであれば、安城更生病院や海南病院などの職員数が多い病院と更新を抱き合わせる事を視野に入れて検討しております。また他の中規模病院の費用削減や厚生連病院としての統一感を持たせるために同じユニフォームが可能なのか本部への投げかけを行いました。

■ 事務部

5. 施設課

活動内容と評価

1) 災害拠点病院体制強化

近年は、新型コロナウイルスの流行のため、地域の医療機関との災害連携訓練は行えず病院単独での災害訓練に留まっていたが、今年度は関係機関をコロナ以前の規模に戻し、災害訓練を実施しました。外部DMA Tの受け入れや近隣病院および保健所からの見学もあり、非常に有意義な訓練となりました。

また、二次医療圏内では、当院が事務局となり、二次医療圏内の北部を公立西知多総合病院にて、中部を半田市立半田病院にて、南部を知多厚生病院にてオンラインで繋いだ合同訓練を3回実施致しました。本訓練では、一般病院ならびに5市5町にも参加いただき、顔の見える関係作りならびに災害時における一般病院の役割および災害時の患者搬送の流れを知っていただきました。各回異なる方が見えて非常に多くの方に災害医療を知っていただく機会となりました。

2) 費用削減

今年度初頭は、引き続き高騰している電気料金を抑えるため、室外機の運転制御を行う取り組みを引き続き行い、夏季になると猛暑となり、病院という特性上、療養環境を犠牲にすることは難しく、職員エリアに対し厳しい省エネを進めて参りました。その結果、昨年度より平均外気温が2℃程度上がり、数か月に渡り猛暑日が続きましたが、昨年度比100%を切る事が出来、3.6%強の省エネを図ることができました。

3) 施設整備計画

今年度は、各メーカーの値上げが非常に多く、予算化した昨年11月の段階から大きく費用増となる傾向にありました。定価の値上げを踏まえ、掛け率の交渉から金額の交渉にシフトし、掛け率としては、過去最大の数値を出すことができました。

また、電子カルテの価格交渉においては、システム構築の人件費が、部門システム毎に異なるため、安価なものをベースとして、交渉を進めるとともに、他社で購入可能な物品については、別途見積を徴すことで、安価な導入を進めました。

■ 医療情報部

1. 部門目標

- ・次期医療情報システムの導入を完成する
- ・コンピューターを使用した自動化による業務のスリム化に取り組む
- ・診療録管理の充実により、医療の質向上を目指す
- ・データ活用による経営資料の作成に取り組む
- ・システム障害が発生した場合に対応できる体制を整える

2. 活動内容と評価

1) 電子カルテの更新

ワーキンググループを2022年1月に立ち上げ、電子カルテ・部門システムの検討を行ってきた。

限られた予算に収まるように各システムを調整しつつ、2024年3月に新システムを稼働。強化の必要があった職員ログイン時の認証機能や外部からの侵入対策などセキュリティ面の整備を実施した。

篠島診療所のシステムについても見直し、紙カルテで運用していたが災害による消失を防ぐため、クラウド型電子カルテの導入を実施、カルテと同様に医事システムもクラウド型のシステムへ切り替えた。

医事システムの関係で並行運用期間を設けるため、2023年8月に稼働。

本院・篠島診療所ともに安定稼働していくため、日々のサーバチェック等の管理を継続していく。

2) システム障害訓練

システム障害が起こった場合に備えての訓練を2023年8月に実施。

想定として、電子カルテが使用不可（参照カルテを使用し過去の情報は確認できる）部門システムは使用できるがカルテが使用できないため結果を取り込めない。

カルテは障害時の紙様式を使用、検査結果も現場で印刷後に人の手によって診察室まで搬送。

使用している紙様式が古く、現運用に合わなくなっているため新様式への変更を検討していく。

実際にサイバー攻撃の被害に遭遇している医療機関が増えてきているため、侵入されなためのセキュリティは前提としつつ、可能な限り運用を継続できるよう訓練を実施していく。

■ 保健事業部

1. 部門（部署）目標

- ① ご意見箱の意見を集約し内容確認・検討・改善・実施する
- ② 人間ドック及び各種健診の利用者確保
- ③ 要精検受診者確保に向けた取り組み

2. 活動内容と評価

① ご意見箱の意見について

令和5年度のご意見数：5件

ご意見より、Wi-Fi設置、健診受診環境（室温）への対策を行った。

待ち時間、検査着に対するご意見に対しては次年度引き続き検討する。

② 人間ドック及び各種健診の利用者確保について

オプションで下肢筋力測定を開始した。案内送付時にパンフレットを入れ、当日希望者への対応をした。

乳・子宮がん検診、特定健診、下肢筋力測定のポスターを診療棟に掲示した。

健診パンフレットを正面玄関や外来へ設置した。

③ 要精検受診者確保に向けた取り組みについて

項目	精検受診率 (A/B)	A:要精検者数 (人)	B:合計 (人)	自院受診 (人)	他院受診 (人)	未受診・未把握 (人)
胃がん検診	82%	28	23	18	5	5
肺がん検診	69%	51	35	26	9	16
大腸がん検診	61%	56	34	26	8	22
子宮がん検診	83%	6	5	5	0	1
乳がん検診	86%	29	25	22	3	4
前立腺がん検診	55%	11	6	4	2	5

3. 業務実績

① 保健指導活動（特定保健指導）

全国健康保険協会の保健指導活動（特定保健指導）			
	令和4年度 (人)	令和5年度 (人)	前年対比 (%)
動機付け	27	41	151.8
積極的	35	29	120.6
合計	62	70	88.5

② 受診者数および収入（健康管理センター保健活動集計より）

	受診者数（延人数）（通計）			収入（通計）		
	令和4年度 （人）	令和5年度 （人）	前年対比 （%）	令和4年度 （円）	令和5年度 （円）	前年対比 （%）
J A 関連	1,693	1,455	85.9	23,111,716	20,691,094	89.5
協会健保	853	902	105.7	14,836,142	16,287,275	109.8
市町村	1,946	2,301	118.2	17,027,572	20,320,336	119.3
その他 （企業・個人等）	4,212	4,995	118.6	33,396,876	39,382,790	117.9
予防接種	62	211	340.3	474,100	1,158,950	244.5
総合計	8,766	9,864	112.5	88,846,406	97,840,445	110.1

■ 地域医療福祉連携部

1. 部門目標

(1) 地域連携体制の充実

- ・ 紹介患者の受け入れ強化
- ・ 入退院支援の強化
- ・ 地域包括ケアシステムの推進

(2) 訪問看護ステーションの充実

- ・ 利用者確保に向けた病院・施設等との連携強化

(3) 働き方改革への対応

- ・ 時間外勤務削減に向けた業務見直し

2. 地域医療福祉連携室

(1) 活動内容と評価

1) ACP の普及推進

- ・ 知多半島医療圏近隣 7 病院（中京病院、南生協病院、公立西知多総合病院、国立長寿医療研究センター、半田市立半田病院、常滑市民病院、知多厚生病院）で構成される「知多半島において、ACP と EOLD を推進する会」の定例会（年 2 回）で各施設での取り組み状況を情報共有し、WEB での研修会に参加した。

2) 医師会症例検討会ミニレクチャーの開催

- ・ 美浜町及び南知多町の医師会と知多厚生病院で、病診連携体制を構築することを目的とした症例検討会ミニレクチャーを年 11 回開催した。

3) 地域包括ケアシステム参画

- ・ 美浜町と南知多町の地域包括ケアシステム推進協議会に参加し、地域包括ケアシステム構築に必要な連携課題について検討した。

3. 地域連携課

(1) 活動内容と評価

1) 質の高いサービスの提供

- ・ 紹介患者の窓口対応は、予約・予約外にかかわらず対応する体制とし、患者サービスの向上に努めた。

2) 関係機関との連携強化

- ・ 関係機関に訪問し、レスパイト入院の受け入れ等の案内を行った(訪問件数 39 件)。

(2) 実績報告

1) 紹介実績

- ・ 別表にて

4. 医療福祉相談課

(1) 活動内容と評価

1) 入退院支援の強化

- ・ 退院困難患者における退院支援カンファレンスの実施率は **65.9%** であり、**R4** 年度を上回った。加えて、**R5** 年 **6** 月より新たなカンファレンス方法を追加し、**R5** 年度は **1,501** 件の退院支援カンファレンスを実施した (**R4** 年度 **727** 件実施)。
- ・ **R5** 年 **5** 月より面会再開となり、対面・オンライン併用し **145** 件の介護支援連携カンファレンスを行った。

2) 地域の医療、福祉、介護との連携

- ・ 地域包括ケア個別会議、地域包括ケア会議、有床病院連携会、グループホーム大地の丘運営推進会議などに参加し、情報発信を行った。また、そこで発生している医療福祉に関する課題を院内で共有した。

3) 患者支援の充実

- ・ レスパイト入院の案内について、地域を拡大し実施した。美浜町・南知多町に加えて、武豊町・常滑市の居宅介護支援事業所にソーシャルワーカーが訪問し、レスパイト入院の利用案内を行った。当日、緊急での入院希望についても対応した。
- ・ コロナ 5 類引き下げに伴い再開された各種研修会について、患者支援に関連する内容を中心に参加を行い、患者支援に活かしている。

4) 時間外勤務削減に向けた業務見直し

- ・ 情報提供書の書式と作成方法を見直し、短時間で作成できるように改善した。電子カルテ内での作成にし、担当者が不在でも対応可能となった。
- ・ 朝礼とミーティングでの情報共有のあり方を変更し、ミーティング時間をこれまでより確保できるようにした。その時間を活用し、効率的で効果的な支援や記録について検討した。

(2) 実績報告

- ・ 別表にて

5. 介護管理課

(1) 活動内容と評価

1) 各種届出等の作成

▽訪問看護ステーション (介護・介護予防)

- ・ 令和 6 年 2 月 1 日 運営規程の変更 (利用料等、虐待の防止のための措置に関する事項)
- ・ 令和 6 年 4 月 1 日 指定更新 (※1 月 25 日受理)

▽通所リハビリテーション

- ・ 令和 5 年 11 月 1 日 契約書 (虐待の防止のための措置に関する事項)・重要事項説

明書（職員体制）・運営規程（虐待の防止のための措置に関する事項・職員体制）の変更

▽居宅療養管理指導

- ・ 令和 6 年 3 月 1 日 運営規程の変更（職員体制、虐待の防止のための措置に関する事項）
- 2) 監査
 - ・ 特になし

6. 訪問看護ステーション

(1) 活動内容と評価

- 1) 利用者確保に向けた訪問看護体制：連携の強化
 - ・ 入退院時、入院中も受け持ちを中心に病棟訪問し病棟スタッフと情報共有を行った
 - ・ 当院主治医に限らず、他院の利用者においても必要時訪問調整を行い受診、往診に同席して情報の提供や方針の確認など行った
 - ・ 他事業所とは電子連絡帳を活用し情報共有を行っている
- 2) 看護サービス提供体制の充実
 - ・ 各月で学習会を開催している。カンファレンスに関しては、毎日の情報共有時間や月一回実施している新規利用者、リハビリ介入者カンファレンスを実施している
 - ・ タブレット入力は、全てにおいて SOAP によるアセスメント入力がされている
 - ・ 褥瘡に関しては、委員を中心に定期的な DESIN 評価を行っている
 - ・ BCP はマニュアルの整備はできている。訓練は災害時の緊急連絡訓練のみ実施。具体的な災害、感染の訓練は実施できておらず来年度の継続課題とする
- 3) 働き方改革への取り組み
 - ・ 小集団活動における 5S 活動として担当場所を決め、定期的な整理整頓を継続して実施できている

(2) 実績報告

- ・ 訪問実績：別表にて

地域	医療機関名	内科		小児科		外科		整形外科		脳神経外科		皮膚科		泌尿器科		産婦人科		眼科		耳鼻咽喉科		検査		合計		増減			
		令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	件数(件)	比率(%)	
青山区	青山外科														1										1		1	#DIV/0!	
	杉田医院					1																			1		1	#DIV/0!	
	はんだ脳神経内科クリニック		3								3											1				7		▲7	0%
	知多クリニック		2																							2		▲2	0%
	こころ音メンタルクリニック										1											1				2		▲2	0%
	かみいけクリニック		1											1												2		▲2	0%
	中町クリニック		1																							1		▲1	0%
	乙川さとうクリニック		1																							1		▲1	0%
	たけうち耳鼻咽喉科																						1			1		▲1	0%
	森クリニック																						1			1		▲1	0%
	南青山皮ふ科													1												1		▲1	0%
	利根接骨院										1															1		▲1	0%
	日本ガイシ知多診療所		1																							1		▲1	0%
	安野内科・循環器科		1																							1		▲1	0%
	高川クリニック																				1					1		▲1	0%
日比整形外科									1																1		▲1	0%	
竹内内科クリニック		1																							1		▲1	0%	
常滑市	常滑市民病院	7	6			9	15	1	2	1	3		2	2						1	2	1			22	30	▲8	73%	
	こいえ内科	4	2										1	2											5	4	1	125%	
	いのう皮フ科形成外科												4	2											4	2	2	200%	
	瀧田医院		1					2		1												1			3	2	1	150%	
	常滑いきいきクリニック		3				1	1		1															2	4	▲2	50%	
	内田眼科																		2	2					2	2	0	100%	
	整形外科いしいクリニック					1		1	1																2	1	1	200%	
	とこなめ整形外科							1	2																1	2	▲1	50%	
	伊藤クリニック	1	1																						1	1	0	100%	
	竹内内科小児科	1	1																						1	1	0	100%	
	たてやまクリニック							1																	1		1	#DIV/0!	
	西知多こころのクリニック	1																							1		1	#DIV/0!	
	須知医院							1																	1		1	#DIV/0!	
	河村内科	1																							1		1	#DIV/0!	
	瀧田医院分院																					1			1		▲1	0%	
	さざんかの丘		1																						1		▲1	0%	
	りんくう眼科																			1					1		▲1	0%	
	本郷安富クリニック																					1			1		▲1	0%	
阿久比町	メディコ阿久比	6	5					3	1		1		1			1									9	9	0	100%	
	竹内整形外科・内科クリニック	1	2			1		4	2													1			7	4	3	175%	
	(医)ハーブ内科皮フ科	1											1		1										2	1	1	200%	
	東ヶ丘クリニック		1																			1			1	1	0	100%	
	デンソー阿久比診療所	1												1											1	1	0	100%	
	寿一会 佐々眼科																		1						1		1	#DIV/0!	
	あぐい南クリニック	1																							1		1	#DIV/0!	
	眼科富田クリニック																					2			2		▲2	0%	
東浦町	東浦医院	1																							1		1	#DIV/0!	
	巽ヶ丘クリニック	1																							1		1	#DIV/0!	
	きとう眼科医院																			1					1		▲1	0%	
	前田クリニック		1																						1		▲1	0%	
	大府病院		1																						1		▲1	0%	
	よしだ眼科																			1					1		▲1	0%	
知多市	西知多リハビリテーション病院							1		3															4		4	#DIV/0!	
	知多小嶋記念病院	2				1																			3		3	#DIV/0!	
	おのうち皮フ科												2	1											2	1	1	200%	
	(医)原田レディースクリニック		1													1	1							1	2	▲1	50%		
	知多眼科クリニック																			1					1		1	#DIV/0!	
	友田クリニック														1										1		1	#DIV/0!	
東海市	公立西知多総合病院	4	7								2	2	2	2	2						1				8	14	▲6	57%	
	じんのクリニック													1											1		1	#DIV/0!	
	富貴ノ台整形外科	1																							1		1	#DIV/0!	
	糖尿病・甲状腺 加木屋たけうち内科	1																							1		1	#DIV/0!	
	加木屋脳神経内科クリニック									1															1		1	#DIV/0!	
	小嶋病院																			1					1		1	#DIV/0!	
	石橋クリニック		1																						1		▲1	0%	
大府市	国立長寿医療研究センター	3	4					1	1	3	1								16	5					23	11	12	209%	
	あいち小児保健医療総合センター		1	2	5						1							1		2					2	10	▲8	20%	
	加藤内科・胃腸科																						1		1		1	#DIV/0!	
	大府ファミリークリニック		1																						1		▲1	0%	
	浅見眼科手術クリニック																				1				1		▲1	0%	
	広川レディースクリニック		1																						1		▲1	0%	
	共和病院						1																		1		▲1	0%	
	大府医療福祉ステシア あおぞらファミリークリニック		1																						1		▲1	0%	
名古屋市	名古屋市立大学病院	23	27			19	16	11	15	1	2	19	13	4	6	1	4	18	19	3	2			99	104	▲5	95%		
	名古屋ハートセンター	23	14							1															24	14	10	171%	
	名古屋大学医学部附属病院	1	3			5		3	5	2	1									2	1	1		12	12	0	100%		
	名古屋大学医学部附属西医療センター	7	3										1					1						9	4	5	225%		
	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	5	3	1								1												7	3	4	233%		
	愛知県がんセンター	1	5			4			1					1										6	6	0	100%		
	名古屋掖済会病院					1		4					1											6		6	#DIV/0!		
	名古屋医療センター	3	4			1	1															1		5	5	0	100%		
	眼科杉田病院	1									1								4	2				5	3	2	167%		
	名古屋記念病院	4	4																		1			4	5	▲1	80%		
	だいでうクリニック	1	1					1					1						1	1				4	2	2	200%		
	大同病院	2	1								1																		

地域	医療機関名	内科		小児科		外科		整形外科		脳神経外科		皮膚科		泌尿器科		産婦人科		眼科		耳鼻咽喉科		検査		合計		増減			
		令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	件数(件)	比率(%)	
地 域	大雄会クリニック				1																				1		1	#DIV/0!	
	野村眼科医院																		1						1		1	#DIV/0!	
	浅田レディース勝川クリニック														1										1		1	#DIV/0!	
	大竹耳鼻咽喉科・睡眠クリニック																						1		1		1	#DIV/0!	
	一宮市立市民病院				1																				1		1	#DIV/0!	
	藤田医科大学 岡崎医療センター							1												1						2	▲2	0%	
	海南病院		1																			1				2	▲2	0%	
	家田内科											1								1						2	▲2	0%	
	豊田厚生病院		1									1														2	▲2	0%	
	一里山・今井病院																					2				2	▲2	0%	
	足立産婦人科																	1								1	▲1	0%	
	山本ウィメンズクリニック																1									1	▲1	0%	
	からき眼科クリニック																			1						1	▲1	0%	
	デンソー刈谷診療所																			1						1	▲1	0%	
	松崎耳鼻咽喉科																					1				1	▲1	0%	
	緑丘アイクリニック																			1						1	▲1	0%	
	渥美病院										1															1	▲1	0%	
	豊田自動織機碧南診療所		1																							1	▲1	0%	
	稲沢市民病院		1																							1	▲1	0%	
	はなさきクリニック		1																							1	▲1	0%	
	堀尾医院											1														1	▲1	0%	
	アイシン刈谷診療所		1																							1	▲1	0%	
	こじま眼科																			1						1	▲1	0%	
	愛知県医療教育総合センター中央病院											1														1	▲1	0%	
	安藤病院											1														1	▲1	0%	
	小石整形外科クリニック									1																1	▲1	0%	
	田戸岬工場診療所		1																							1	▲1	0%	
	(医)愛生館 小林記念病院												1													1	▲1	0%	
	あいちせぼね病院															1										1	▲1	0%	
	あらかわ医院															1										1	▲1	0%	
	総合大雄会病院																	1								1	▲1	0%	
	へきなん中央クリニック		1																							1	▲1	0%	
	渡辺マタニティークリニック																	1								1	▲1	0%	
	前川外科・内科			1																						1	▲1	0%	
	豊橋市民病院												1													1	▲1	0%	
	羽栗病院		1																							1	▲1	0%	
	節内科クリニック												1													1	▲1	0%	
	トヨタ記念病院											1														1	▲1	0%	
	県外	九州労災病院	2								1		1													4		4	#DIV/0!
		北播磨総合医療センター	1										1							1						3		3	#DIV/0!
中部国際医療センター									1		1														2		2	#DIV/0!	
大分大学医学部附属病院		1																		1					2		2	#DIV/0!	
富士市立中央病院																	2								2		2	#DIV/0!	
岐阜県立下呂温泉病院					1	1																			1	1	0	100%	
海外の病院		1	1																						1	1	0	100%	
笠間眼科																					1				1		1	#DIV/0!	
かまた脳神経外科 長崎駅前クリニック											1														1		1	#DIV/0!	
おおはぎ眼科																					1				1		1	#DIV/0!	
もりレディースクラブクリニック																1									1		1	#DIV/0!	
やじまトータルケアクリニック		1																							1		1	#DIV/0!	
調布東山病院		1																							1		1	#DIV/0!	
鈴木眼科医院																					1				1		1	#DIV/0!	
大阪医科薬科大学病院						1																			1		1	#DIV/0!	
待木医院																	1								1		1	#DIV/0!	
市立三次中央病院					1																				1		1	#DIV/0!	
せと眼科医院																					1				1		1	#DIV/0!	
新宿健診プラザ																	1								1		1	#DIV/0!	
橋本市民病院		1																							1		1	#DIV/0!	
白子ウィメンズホスピタル																	1								1		1	#DIV/0!	
メディックス広島健診センター		1																							1		1	#DIV/0!	
浦添総合病院													1												1		1	#DIV/0!	
三林内科・胃腸科医院		1																							1		1	#DIV/0!	
清水赤十字病院										1															1		1	#DIV/0!	
神栖済生会病院												1													1		1	#DIV/0!	
近森病院												1													1		1	#DIV/0!	
諏訪中央病院										1															1		1	#DIV/0!	
クリニックほりかわ										1															1		1	#DIV/0!	
兵庫県立はりま姫路総合医療センター		1																							1		1	#DIV/0!	
東京医科大学病院							1																		1		1	#DIV/0!	
茨城県立中央病院		1																							1		1	#DIV/0!	
山田整形外科病院										1															1		1	#DIV/0!	
済生会有田病院										1															1		1	#DIV/0!	
長浜赤十字病院												1													1		1	#DIV/0!	
はるか耳鼻咽喉科																						1			1		1	#DIV/0!	
立川記念病院										1															1		1	#DIV/0!	
鷺見病院												1													1		1	#DIV/0!	
三重大学医学部附属病院										2															2		▲2	0%	
東京警察病院			1																						1		2	▲2	0%
千早病院		1					1																	2		▲2	0%		
葛西医院																								1		▲1	0%		
前橋赤十字病院																								1		▲1	0%		
西船橋こうのとりクリニック																	1							1		▲1	0%		
長良整形外科クリニック												1												1		▲1	0%		
かえつクリニック																								1		▲1	0%		
ほんぐうクリニック													1											1		▲1	0%		
はぎわら病院											1													1		▲1	0%		
尾鷲総合病院																								1		▲1	0%		
公立 甲賀病院																								1		▲1	0%		

地域	医療機関名	内科		小児科		外科		整形外科		脳神経外科		皮膚科		泌尿器科		産婦人科		眼科		耳鼻咽喉科		検査		合計		増減	
		令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	件数(件)
	総合病院 聖隷三方原病院		1																						1	▲ 1	0%
	大阪赤十字病院		1																						1	▲ 1	0%
	あたか眼科																		1						1	▲ 1	0%
	岩国医療センター						1																		1	▲ 1	0%
	松阪市民病院		1																						1	▲ 1	0%
	宮崎大学医学部附属病院											1													1	▲ 1	0%
	京都第二赤十字病院							1																	1	▲ 1	0%
	市立東大阪医療センター																1								1	▲ 1	0%
	ナヤマレディースクリニック																1								1	▲ 1	0%
	伊那中央病院							1																	1	▲ 1	0%
	三重県立志摩病院							1																	1	▲ 1	0%
	埼玉医科大学総合医療センター		1																						1	▲ 1	0%
	岡波総合病院													1											1	▲ 1	0%
	山梨赤十字病院																			1					1	▲ 1	0%
	鈴鹿中央総合病院		1																						1	▲ 1	0%
	飯田市立病院										1														1	▲ 1	0%
	伊藤耳鼻咽喉科クリニック																				1				1	▲ 1	0%
	合計	859	755	36	22	163	147	232	228	213	218	175	230	82	66	45	49	133	111	68	93	161	169	2,167	2,088	79	104%
増減	件数(件)	104		14		16		4		▲ 5		▲ 55		16		▲ 4		22		▲ 25		▲ 8		79			
	比率(%)	114%		164%		111%		102%		98%		76%		124%		92%		120%		73%		95%		104%			

令和 5 年度 医療福祉相談課 実績報告

1) 相談支援延べ件数（退院支援カンファレンス含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 5 年度	827	971	1,179	1,079	1,241	1,137	1,182	1,077	1,110	1,063	1,081	1,025	12,972
令和 4 年度	905	904	1,111	890	854	879	903	986	947	1,003	1,009	993	11,384

2) 入退院支援加算 1 算定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 5 年度	40	59	99	94	150	128	135	120	151	99	129	135	1,339
令和 4 年度	52	59	59	56	45	67	56	53	66	45	55	60	673

3) 介護支援連携指導料算定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 5 年度	5	9	14	14	21	12	18	18	24	17	8	14	174
令和 4 年度	6	4	9	3	6	6	3	4	6	3	2	3	55

4) 退院時共同指導料 2 算定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 5 年度	3	4	5	4	2	3	2	2	3	2	1	8	39
令和 4 年度	3	4	1	3	3	5	5	5	5	1	4	6	45

5) 患者サポート体制充実加算（総合相談窓口）相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 5 年度	5	1	5	7	1	3	4	2	5	9	4	2	48
令和 4 年度	4	5	8	1	2	0	6	4	3	3	2	5	43

6) 主な会議・出張の件数

会議・出張・研修（開催件数）	
委員会	52
院内会議・ミーティング	45
退院検討会	303
カンファレンス（個別ケースを除く）	113
総合相談カンファレンス	46
医療福祉相談課ミーティング	26
医療機関・福祉施設・教育機関等 訪問	35
院外会議（オンライン含む）	54
院内・院外研修会（運営含む）	27

7) 学生等の受け入れ

概要	大学・学部など	期間/人数
在宅看護論実習	愛北看護専門学校 看護学科 3年生	2023年9月～10月 3日間×4クール 各3名ずつ

愛知県立桃陵高等学校の看護臨地実習（統合実習）カリキュラムも一部対応した。

令和5年度 訪問看護ステーション実績報告書

令和5年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通計	平均
営業日数		20	20	22	20	21	20	21	20	21	19	19	20	243	20.3
新規契約者数		6	9	7	4	8	7	6	2	9	7	5	10	80	6.7
入院・入所者数		3	12	14	7	9	12	7	11	12	10	7	5	109	9.1
中止・終了者数		0	2	0	1	2	0	1	2	2	0	2	2	14	1.2
死亡者数		4	7	5	9	2	4	6	4	8	3	4	3	59	4.9
利用者数 (人)	医療	19	22	22	19	17	20	17	20	17	18	17	17	225	18.8
	介護	81	83	77	74	76	75	75	72	74	68	70	77	902	75.2
	合計	100	105	99	93	93	95	92	92	91	86	87	94	1,127	93.9
	前年対比	102.0%	100.0%	101.0%	86.9%	94.9%	99.0%	95.8%	95.8%	91.9%	84.3%	90.6%	98.9%		95.1%
訪問件数 (件) (リハ1単 位で計 算)	医療	97	120	107	86	77	101	91	121	71	85	80	78	1,114	92.8
	介護	554	565	528	488	533	480	514	471	470	431	441	488	5,963	497
	合計	651	685	635	574	610	581	605	592	541	516	521	566	7,077	590
	前年対比	102.2%	109.6%	97.5%	88.7%	89.1%	103.9%	107.8%	100.3%	89.3%	92.8%	89.4%	87.1%		96.5%
収入 (千円)	医療	1,123	1,433	1,345	1,139	895	1,126	1,219	1,401	879	949	901	934	13,344	1112
	介護	4,100	4,188	3,650	3,391	3,764	3,637	3,613	3,406	3,500	3,162	3,266	3,667	43,344	3,612
	合計	5,223	5,621	4,995	4,530	4,659	4,763	4,832	4,807	4,379	4,111	4,167	4,601	56,688	4,724
	前年対比	100.6%	111.6%	99.5%	86.5%	88.6%	104.8%	109.7%	105.9%	92.8%	87.6%	92.8%	91.1%		97.6%
緊急訪問 件数 (看護)	営業時間内	5	13	13	8	5	7	6	7	5	3	11	13	96	8.0
	営業時間外	18	13	11	21	12	10	17	10	9	10	8	9	148	12.3
	深夜(再掲)	2	3	2	3	1	3	2	1	1	0	1	0	19	1.6
時間外(分)	看護緊急訪	1,660	1,255	865	1,225	950	1,275	1,793	665	480	945	830	795	12,738	1,062
	護記録・予定	3,895	1,235	125	140	0	150	160	90	0	1,125	405	680	8,005	667

【看護体制強化加算】 要介護者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通計	平均
①緊急加算 (%)	78	74	72	72	77	78	71	73	75	74	73	73		74.2
②特別管理加算(%)	35	35	35	35	35	37	36	38	35	33	33	32		34.9
③ターミナルケア加算	10	14	13	13	13	16	17	17	19	17	16	14	179	14.9
看護体制強化加算	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I		

※ 算定要件 ①緊急時訪問看護加算50%以上、②特別管理加算20%以上、(算定月の前6ヶ月で) ③ターミナルケア加算5件以上(I)、1件以上(II)、(算定月の前12ヶ月で)

【ターミナルケア加算・ターミナルケア療養費算定数】

	R6.3月	R6.2月	R6.1月	R5.12月	R5.11月	R5.10月	R5.9月	R5.8月	R5.7月	R5.6月	R5.5月	R5.4月	通計
護(ターミナルケア加算)	0	0	0	2	0	1	3	1	1	0	4	2	14
費(ターミナルケア療養)	1	0	0	1	2	1	0	0	3	2	3	1	14

令和5年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通計	平均
利用者数 (人)	看護	96	105	99	90	90	91	89	89	89	82	83	91	1094	91.2
	リハビリ	30	31	31	31	30	28	26	29	28	24	27	27	342	28.5
	重複	26	27	27	28	27	24	23	26	26	20	23	24	301	25.1
	看護前年対比	109.1%	110.5%	111.2%	91.8%	97.8%	101.1%	102.3%	97.8%	98.9%	85.4%	92.2%	98.9%		99.8%
	リハビリ前年対比	111.1%	100.0%	106.9%	100.0%	107.1%	100.0%	83.9%	96.7%	87.5%	77.4%	90.0%	90.0%		95.9%
訪問件数 (H29年4月～リハ実訪問件数)	看護	422	449	387	333	371	373	398	387	336	336	332	360	4,484	374
	リハビリ	229	236	248	241	239	208	207	205	205	180	189	206	2,593	216
	看護前年対比	93.8%	107.2%	92.4%	76.2%	83.6%	102.5%	113.1%	104.6%	90.1%	92.8%	89.5%	85.1%		94.2%
	リハビリ前年対比	122.5%	116.3%	106.9%	114.8%	99.2%	106.7%	99.0%	93.2%	88.0%	92.8%	89.2%	90.7%		101.6%
収入 (千円)	看護	4,381	4,798	4,163	3,671	3,826	4,098	4,048	3,997	3,569	3,387	3,399	3,947	47,284	3,940
	リハビリ	842	823	832	858	833	665	784	810	810	724	768	654	9,403	784
	合計	5,223	5,621	4,995	4,529	4,659	4,763	4,832	4,807	4,379	4,111	4,167	4,601	56,687	4,724
	前年対比	100.6%	111.6%	99.5%	86.4%	88.6%	104.9%	109.7%	105.9%	92.8%	87.1%	92.8%	91.1%		97.6%
常勤換算 数 (管理者 1)	看護	6.7	6.5	7.1	6.5	6.4	6.6	6.2	5.9	6.3	4.9	5.7	5.9	74.7	6.2
	リハビリ	1.3	1.3	1.5	1.4	1.3	1.3	1.2	1.1	1.2	1.0	1.2	1.2	15.0	1.3
	合計	8.0	7.8	8.6	7.9	7.7	7.9	7.4	7.0	7.5	5.9	6.9	7.1	89.7	7.5
職員1人 当りの訪 問件数 (管理者 1)	看護	68	75	59	56	63	61	70	72	58	76	64	67	787	65.6
	リハビリ	176	182	165	172	184	160	173	186	171	180	158	172	2,078	173.2
	平均	122.1	128.2	112.0	113.8	123.4	110.6	121.2	129.0	114.4	128.2	110.7	119.2		119.4
職員1人 当りの収 入(千円) (管理者 1)	看護	654	738	586	565	598	621	653	677	567	691	596	669	7,615	635
	リハビリ	648	633	555	613	641	512	653	736	675	724	640	545	7,574	631
	平均	653	721	581	573	605	603	653	687	584	697	604	648		634

R5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通計	平均
時共同指導加算算定数(限)	5	6	5	3	2	3	4	0	5	2	2	2	39	3.25
時共同指導加算算定数(限)	2	2	1	4	1	2	0	0	1	0	1	1	15	1.3
ビス担当者会議参加数(看)	0	5	4	7	6	8	5	4	7	3	5	5	59	4.9

【祝日、土・日曜日訪問件数】※緊急訪問

R5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通計	平均
看護師訪問件数	0	22	0	5	5	8	7	28	6	12	15	6	114	9.5

R5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通計	平均
看護師訪問件数/1日	3.2	3.6	2.5	2.6	2.9	2.9	3.1	3.5	2.7	3.8	3.2	2.9	36.9	3.1

* 訪問総数(看護一時間外訪問)÷営業日数÷常勤換算NS数(k管理0.5) 小数点2桁以下切り捨て

院外活動報告

学会・研究会発表……………	104
院外講演会・勉強会講師……………	107
論文・雑誌掲載……………	108

■ 学会・研究会発表

主催／タイトル	発表者／職種	日付／場所（※開催地）
第73回日本東洋医学会学術総会/ シンポジウム講演 「救急疾患に漢方を活かす」	丹村 敏則 (医師)	令和5年6月17・18日 福岡県博多市
第5回日本在宅医療連合学会地域 フォーラム/共催セミナー講演 「チーム医療・在宅医療における 漢方の活用」	丹村 敏則 (医師)	令和5年9月10日 埼玉県さいたま市
第27回日本病態栄養学会年次学 術大会/一般演題・講演発表 「ドック・健診の腎機能低下に対 する地域食文化を考慮した生活 指導の実践と効果」	丹村 敏則 (医師)	令和6年1月27・28日 京都府京都市
知多地区診療放射線技師会冬期 研修会 知多厚生病院における心臓 CT の 現状	梅田 伸一 (診療放射線技師)	令和6年2月17日 半田赤レンガ建物
日本検査血液学会学術集会 単球サイズ分布幅と新型コロナ ウイルスの関連	中尾 謙太 (臨床検査技師)	令和5年7月29・30日 名古屋市
第72回日本農村医学会 長時間記録心電計が有用であっ た発作性心房細動	渡邊 五月 (臨床検査技師)	令和5年10月20日 秋田県秋田市
日臨技中部圏支部医学検査学会 プロカルシトニン (PCT) 陽性者 における単球サイズ分布幅 (MDW) 測定の有用性	中尾 謙太 (臨床検査技師)	令和5年12月2・3日 石川県金沢市
第31回愛知県理学療法学術大会 「人工関節置換術後に膝関節伸 展不全および Stiff-knee gait を 呈した一例」	佐野 哲章 (理学療法士)	令和5年5月14日 名古屋コンベンションホール

主催／タイトル	発表者／職種	日付／場所（※開催地）
第31回愛知県理学療法学会 「美浜町における療法士ネットワークによる介護予防活動」	松本 大樹 (理学療法士)	令和5年5月14日 名古屋コンベンションホール
日本訪問リハビリテーション協会 「調理の再獲得が生活意欲の向上につながった片麻痺の症例」	中嶋 怜 (作業療法士)	令和5年5月27日～28日 名古屋国際会議場
日本臨床栄養代謝学会 「社会性に問題のある二次性サルコペニアに対して多職種連携を図り自宅退院を達成した症例」	田川 裕大朗 (理学療法士)	令和6年2月15日～16日 神奈川県横浜市
第34回東海糖尿病治療研究会 糖尿病患者教育担当者セミナー 「低血糖を繰り返す糖尿病患者に対し、SAP導入とアプリを使ったカーボカウントが有効だった1例」	増田 明啓 (管理栄養士)	令和5年9月3日 名古屋国際会議場
第24回知多半島栄養サポートフォーラム 「大腸癌患者の術前mGPSと予後」	内田 理恵子 (管理栄養士)	令和6年2月3日 半田市
第39回日本臨床栄養代謝学会 「当院ICUにおいて管理栄養士の支援がもたらす変化と今後の課題」	重村 隼人 (管理栄養士)	令和6年2月16日 神奈川県横浜市
第51回JA愛知厚生連 「新人看護師ローテーション研修の効果」～アンケート調査と技術チェックリストの習得状況～	戸嶋 千栄美 (看護師)	令和5年11月23日 名古屋市
第72回日本農村医学学会 院内デイケアを急性期病棟で実施した結果と課題	横山 美穂 (看護師) 認知症看護認定看護師	令和5年10月19日 秋田県秋田市

主催／タイトル	発表者／職種	日付／場所（※開催地）
第72会日本農村医学会 「新入職員に対する接触伝播予防策の意識づけ」について	仮屋 小百合 (看護師) 感染管理 看護認定看護師	令和5年10月19日 秋田県秋田市
第72会日本農村医学会 ネットバンキングおよび窓口会計用釣銭両替金配送サービスを利用した経理業務の効率化について	渡邊 和宜 (事務職)	令和5年10月20日 秋田県秋田市
第72会日本農村医学会 空調設備間欠運転による使用電力量削減への取り組みについて	伊藤 太一 (事務職)	令和5年10月20日 秋田県秋田市
第72会日本農村医学会 Google フォーム活用による総合病院総務課の業務効率化について	石黒 直寿 (事務職)	令和5年10月20日 秋田県秋田市
第18回愛知県医療ソーシャルワーク学会 院内におけるACPの普及活動	鈴木 直子 (ソーシャルワーカー)	令和6年2月10日 名古屋市
第18回愛知県医療ソーシャルワーク学会 身寄りのない終末期患者の意志決定支援を振り返る	榊原 慎二 (ソーシャルワーカー)	令和6年2月10日 名古屋市

■ 院外講演会・勉強会講師

主催／タイトル	発表者	日付／場所（※開催地）
第11回日本国民健康保険組合健康講演会/特別講演 「生活習慣病予防と健康管理」	丹村 敏則 (医師)	令和5年10月1日 大阪府大阪市
名古屋市南区医師会講演会/特別講演 「高齢者医療におけるフレイル対策」	丹村 敏則 (医師)	令和5年10月10日 名古屋市 WEB 発表
栄養と漢方 WEB セミナー/特別講演 「栄養療法と漢方薬の併用活用」	丹村 敏則 (医師)	令和5年10月26日 兵庫県神戸市 WEB 発表
岐阜県地域連携講演会/特別講演 「地域医療における漢方薬の役割」	丹村 敏則 (医師)	令和6年2月8日 岐阜県岐阜市 WEB 発表
美浜町 療育支援事業 「療育は何をしたらいい？」	仲林 八重 (作業療法士)	令和5年8月25日 美浜町 わかば園
美浜町 療育支援事業 「生活動作でできること」	仲林 八重 (作業療法士)	令和5年9月29日 美浜町 わかば園
美浜町 療育支援事業 「お手伝いのすすめ」	仲林 八重 (作業療法士)	令和5年10月17日 美浜町 わかば園
2023年 知多半島がん基礎研修	大井 初江 (看護師) がん性疼痛看護認定看護師	令和5年7月6日 ZOOM 遠隔 講義
愛知県看護協会 認定看護管理者教育 セカンドレベル研修組織看護論「人事・労務管理」	近藤 貴代 (看護師) 認定看護管理者	令和5年11月13日 ZOOM 遠隔 講義
看護管理クリニカルリーダーレベルⅣ 組織的役割遂行能力 「看護管理レベルⅣ」	近藤 貴代 (看護師) 認定看護管理者	令和5年12月5日 豊田厚生病院 令和5年12月15日 海南病院

■ 院外講演会・勉強会講師

主催／タイトル	発表者	日付／場所（※開催地）
2023 年知多半島がん化学療法看護研修	山本 和美 （看護師）がん化学療法看護認定看護師	令和 5 年 12 月 9 日 WEB 配信
第 16 回在宅における褥瘡の事例検討会（株式会社すみれ） 訪問看護ステーション	近藤 貴代 （看護師）皮膚排泄ケア認定看護 コメンテーター	令和 6 年 3 月 2 日 半田アイプラザ
救急隊員教育講習会 新型コロナウイルス感染症及び 院内の感染防止対策について	仮屋 小百合 （看護師）感染管理 看護認定看護師	令和 5 年 10 月 30 日 美浜町

■ 論文・雑誌掲載

発行／タイトル	掲載者／職種	日付／ページ
月刊「薬局」（南山堂） 「嚥下障害時の漢方エキス製剤 の服用方法」	丹村 敏則 （医師）	2023, 74 巻, 12 号, P. 90
月間「救急医学」（ヘルス出版） 「救急漢方、呼吸器領域の漢方活 用」	丹村 敏則（医師） 富本 茂裕（医師） 高橋 佳嗣（医師）	2023, 47 巻, 12 号, P1393

